

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-8

<20週> 咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・風しん - 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比べてかなり多い / その他最新動向

<4月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.9-10

<風しんおよび先天性風しん症候群> 社会全体での風しんそのものを抑制することが必要であり、小児から成人まで、男女ともに免疫のない人々は定期接種、任意接種を受けることが強く望まれる



病原体情報
P.11-13

ヒトから検出されたVero毒素産生性大腸菌 2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年 / インフルエンザウイルス 2004年第17週(4/19~)以降



速報
P.14-16

<通知> 平成16年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について / 集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離 - 名古屋市 / 福岡市における風しんの流行状況とその対策



海外感染症情報
P.17-18

スーダン南部でのエボラ出血熱流行 / 中国でのSARS流行 - 更新7



感染症の話
P.19

<今週はお休みです>



P.20-21

読者のコーナー
<風疹と先天性風疹症候群に関するお便り>



グラフ総覧(20週)
P.22-28



グラフ総覧(4月)
P.29-33



4月のデータ
P.34-37



20週のデータ
P.38-47



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)

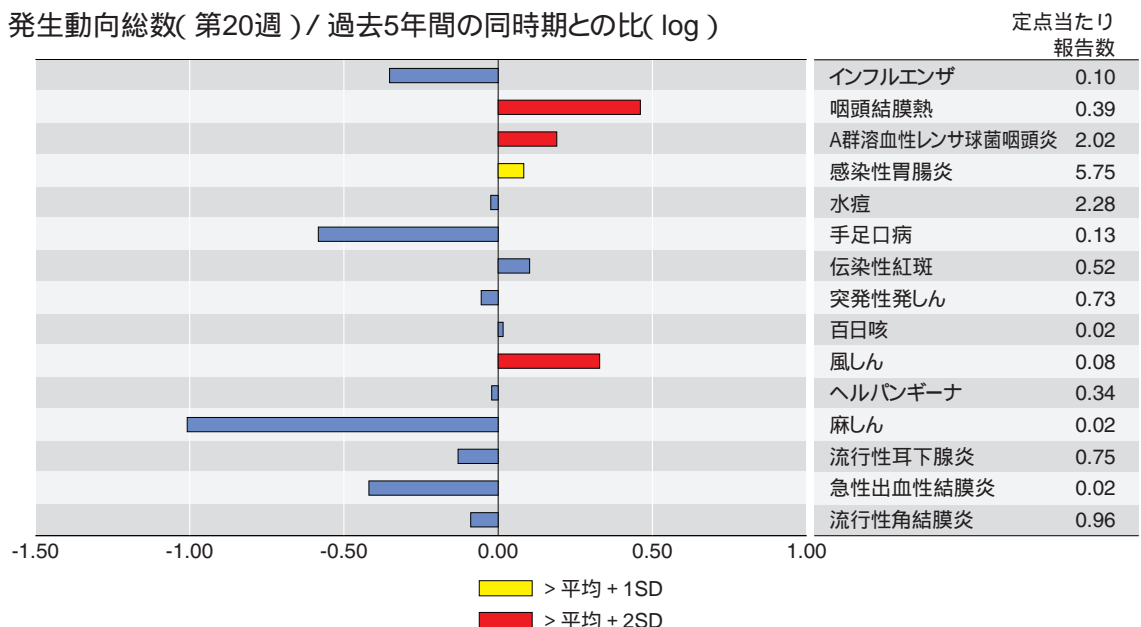
<第20週コメント> 5月20日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: 細菌性赤痢 22例(推定感染地域: 国内3例、ネパール7例、インド5例、ベトナム2例、パキスタン1例、フィリピン1例、中国1例、タイ1例、タイ/カンボジア1例)
 - 腸チフス 2例(推定感染地域: インド1例、インドなど1例)
 - パラチフス 6例(推定感染地域: 国内1例、インド3例、ネパール1例、その他1例)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 44例(うち有症者31例)
 - 報告の多い都道府県: 兵庫県(5例)、広島県(5例)、千葉県(4例)、石川県(4例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(14例)、O26 VT1(14例)、O157 VT2(10例)、O148 VT2(2例)、O157 VT1(1例)、O26 VT1・VT2(1例)、その他(2例)
 - 年齢: 10歳未満(19例)、10代(4例)、20代(6例)、30代(3例)、40代(4例)、50代(5例)、60代(2例)、70歳以上(1例)
 - 4類感染症: オウム病 3例(推定感染源: いずれもインコ)
 - つつが虫病 2例(宮城県、山形県)
 - 日本紅斑熱 1例(高知県)
 - マラリア 2例(熱帯熱1例(推定感染地域: アフリカ)、三日熱1例(推定感染地域: マラウイ))
 - レジオネラ症 1例(71歳)
 - A型肝炎 2例(推定感染地域: とともに国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 3例(推定感染地域: いずれも国内)
 - クリプトスポリジウム症 1例(推定感染地域: 国内)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例(4歳、26歳、81歳)
 - 後天性免疫不全症候群 6例(無症候5例、AIDS 1例)
 - 推定感染経路: 性的接触6例(異性間1例、同性間4例、不明1例)
 - 推定感染地域: 国内5例、タイ1例
 - ジアルジア症 1例(推定感染地域: インド)
 - 梅毒 7例(早期顕症11期4例、晩期顕症1例、無症候2例)
 - 破傷風 3例(60歳、62歳、77歳)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型: VanB 菌検出検体: 便)
 - 急性脳炎 1例(病原体不明(3歳))
- (補)他に、腸管出血性大腸菌感染症1例、ウイルス性肝炎1例の報告があったが削除予定。また、報告遅れとして急性脳炎3例(単純ヘルペスウイルス1例(71歳)、病原体不明2例(54歳、57歳))の報告があった。

発生動向総数(第20週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

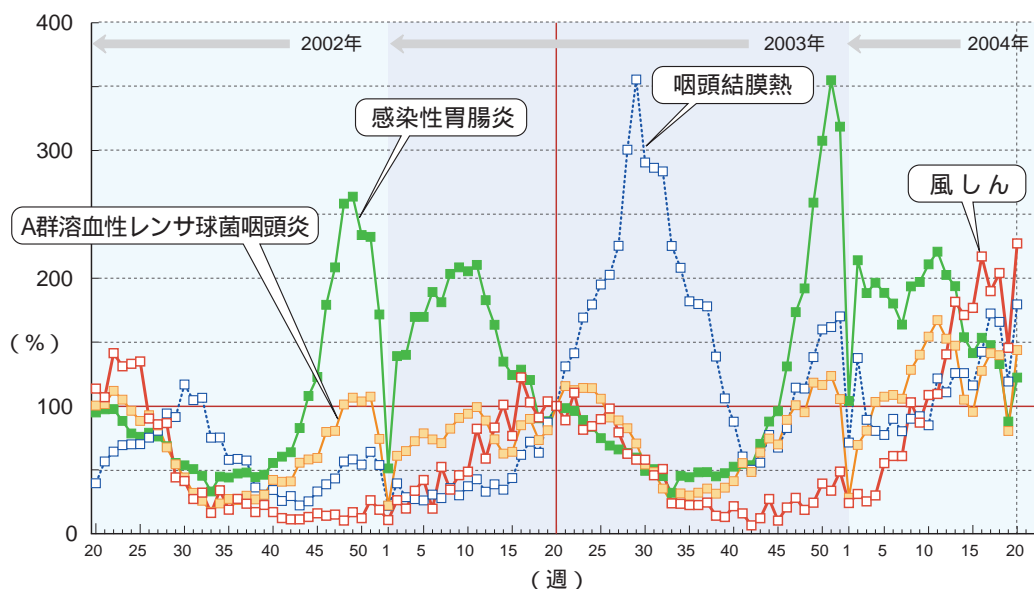
定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では宮崎県(1.9)、島根県(1.4)、佐賀県(1.4)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では山形県(5.8)、富山県(4.7)、新潟県(4.1)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(14.9)、富山県(11.5)が多い。手足口病の定点当たり報告数は微増し、都道府県別では、沖縄県(0.9)、兵庫県(0.5)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では栃木県(0.6)、群馬県(0.6)、沖縄県(0.4)、秋田県(0.3)、大分県(0.3)が多い(「注目すべき感染症」参照)。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、都道府県別では石川県(2.6)、愛媛県(2.3)、熊本県(1.5)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週と同値であるが、都道府県別では栃木県(0.4)、徳島県(0.2)が多い。RSウイルス感染症の報告数は、28都道府県から合計15例であった。

眼科定点報告疾患：流行性角結膜炎の定点当たり報告数は第3週からほぼ横ばいで推移しているが、都道府県別では沖縄県(9.8)が非常に多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第20週)



2003年第20週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。

4月コメント

性感染症について (5月14日集計分) 性感染症定点数: 924

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(11月5日施行)により、「尖形コンジローム」の疾患名が「尖圭コンジローマ」に変更になりました。

2004年4月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.27(男1.40、女1.87)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.89(男0.33、女0.56)、尖圭コンジローマが0.55(男0.31、女0.24)、淋菌感染症が1.51(男1.24、女0.28)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べて横ばいから、やや上昇傾向がみられる。(29 ~ 33ページ「グラフ総覧」参照)。過去4年間の同時期と比較すると、性器ヘルペスウイルス感染症が男性では平均 + 1標準偏差(SD)を下回ったが、女性では平均 + 2SDを超えた。尖圭コンジローマが、男性で平均 + 1SDを超えた(図2)。

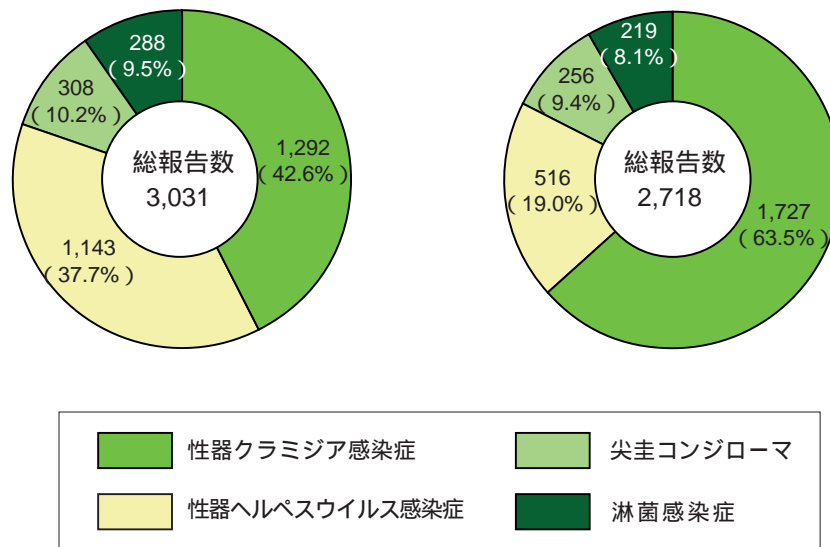
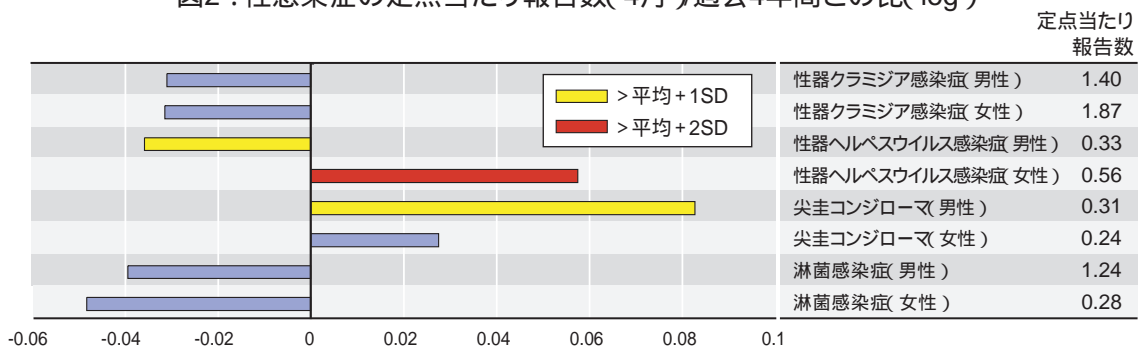


図1 . 各性感染症が総報告数に占める割合(4月)

図2 . 性感染症の定点当たり報告数(4月)過去4年間との比(log)



当該月と過去4年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると(図3) いずれの疾患でもピークは20 ~ 29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15 ~ 29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。前月に比べほぼ横ばいである。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報) 4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(4月)

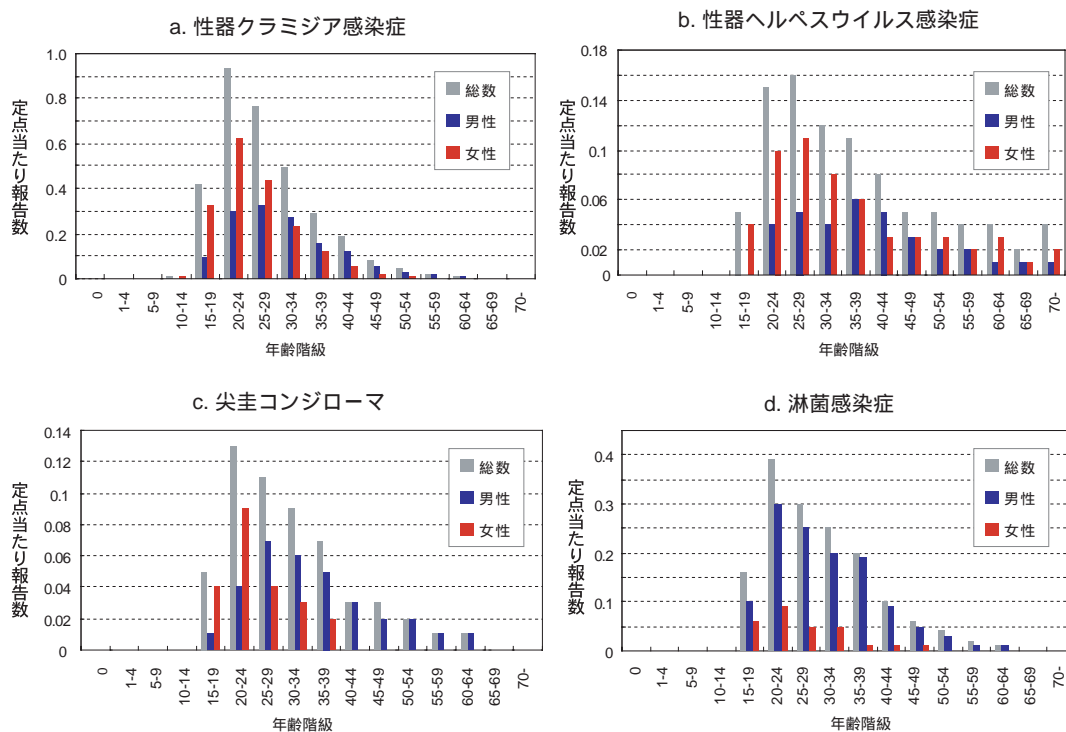
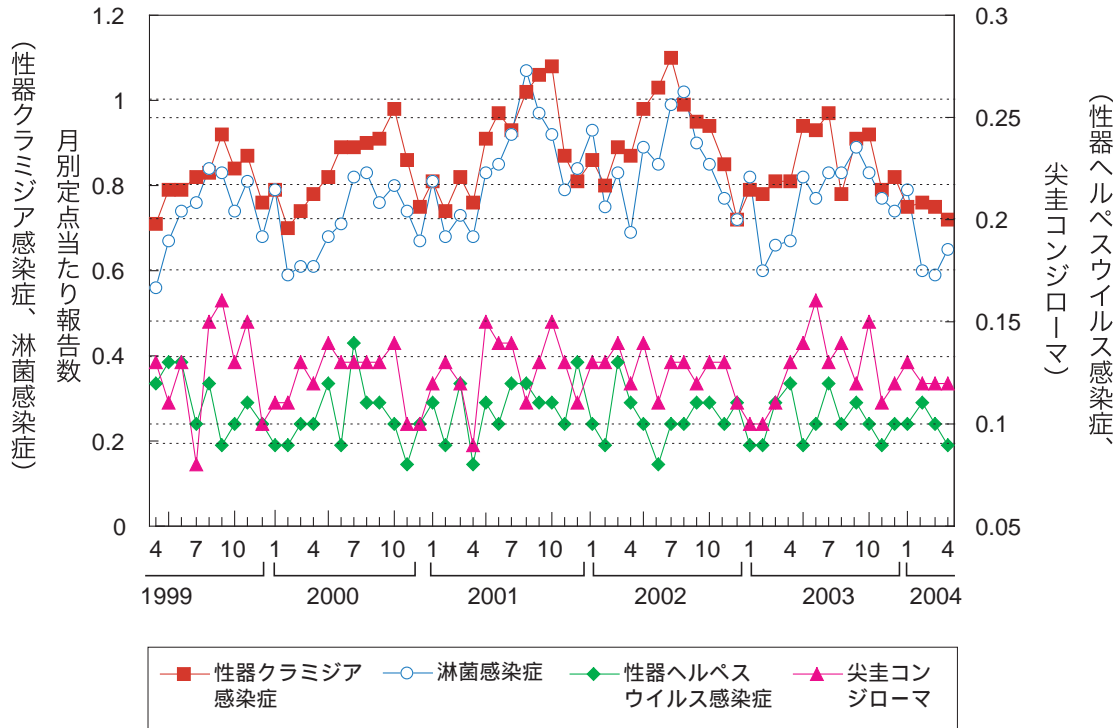
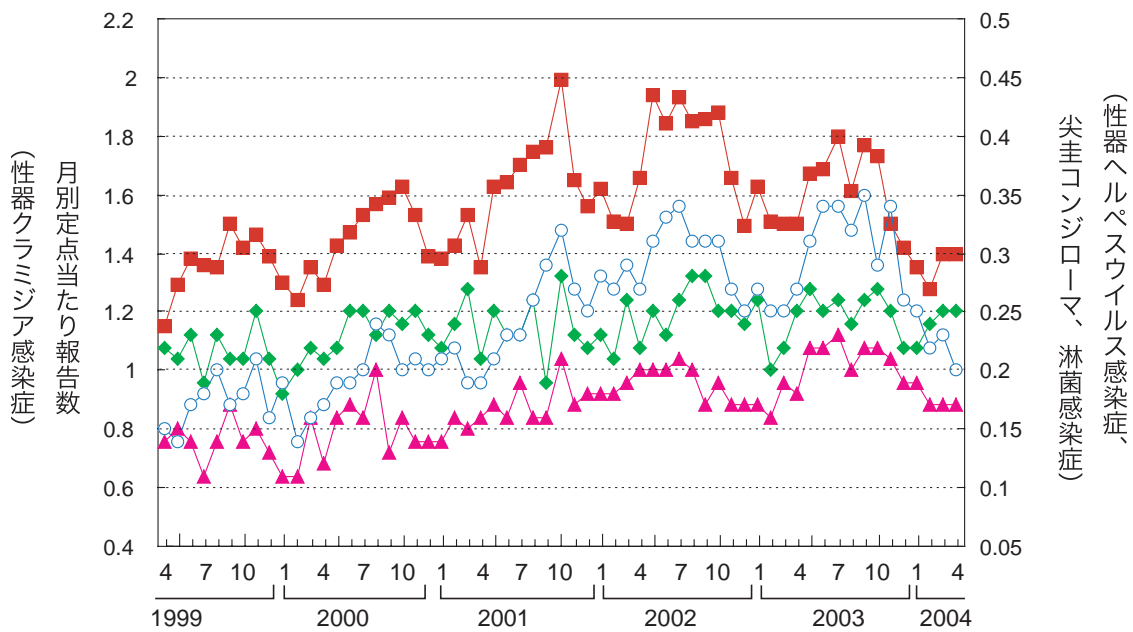


図4 . 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)

a. 男性



b. 女性



薬剤耐性菌について(5月14日集計分)

4月の定点(基幹定点)総数: 472

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.85(前月: 4.19、前年同月: 3.78)

月別では、年間を通して報告数は殆ど変わらないが、年別では微増傾向が認められる。

4月の定点当たり報告数は過去5年間の同月に比して最も多い。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.42(前月: 1.33、前年同月: 1.17)

春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に報告数が多い。

4月の定点当たり報告数は過去5年間の同月に比して最も多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.13(前月: 0.10、前年同月: 0.11)

月別では、年間を通して報告数は殆ど変わらない。

4月の定点当たり報告数は、過去5年間と比較して、2002年に次いで多い。

[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の72%(70歳以上が62%)を占めている。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の72%(5歳未満が66%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の17%(70歳以上が13%)を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の61%(70歳以上が51%)を占めている。

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.8/1

PRSP感染症...1.4/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.6/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は富山県(9.2)、栃木県(9.1)、山口県(7.6)、島根県(7.5)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(11.6)、富山県(7.0)、山口県(6.7)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は岩手県(0.5)、広島県(0.4)、山口県(0.4)が多い。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

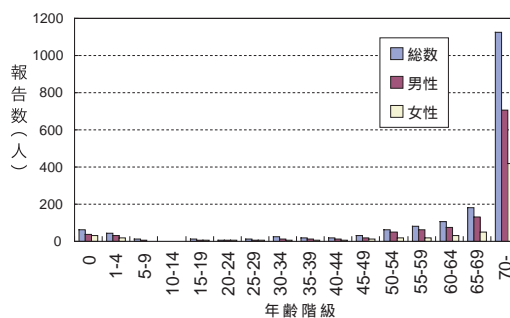


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

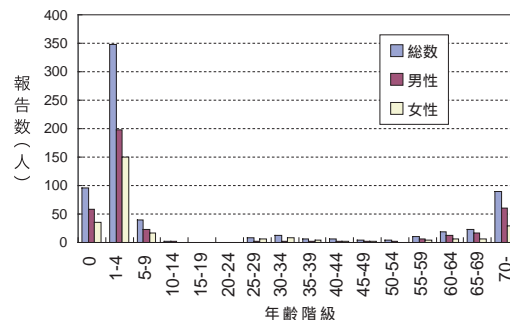
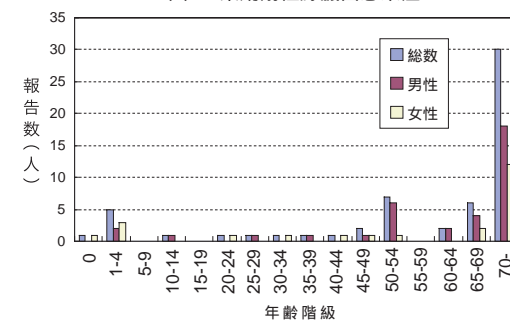


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



結核サーベイランス月報(5月21日集計分)

4月の新登録患者数は2,411人(男性1,580人、女性831人)で、このうち活動性肺結核患者は1,893(うち喀痰塗抹陽性者は887人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(287人)、大阪府(大阪市を除く)(159人)、大阪市(128人)、愛知県(名古屋市を除く)(93人)、埼玉県(さいたま市を除く)(87人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は399人、非定型抗酸菌陽性者数は208人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告 <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>) をご覧ください。



注目すべき感染症

風しんおよび先天性風しん症候群

風しんの発生動向は、感染症法に基づき、全国約3,000カ所の小児科定点医療機関から毎週報告される患者数により把握されている。ここ数年、その報告数はかなり少なく推移しているが、本年の報告数は現在までのところ、過去5年間の報告数と比較して多くなっている(表)。

表 . 風しんの累積報告数 (1999年4月～2004年第20週)

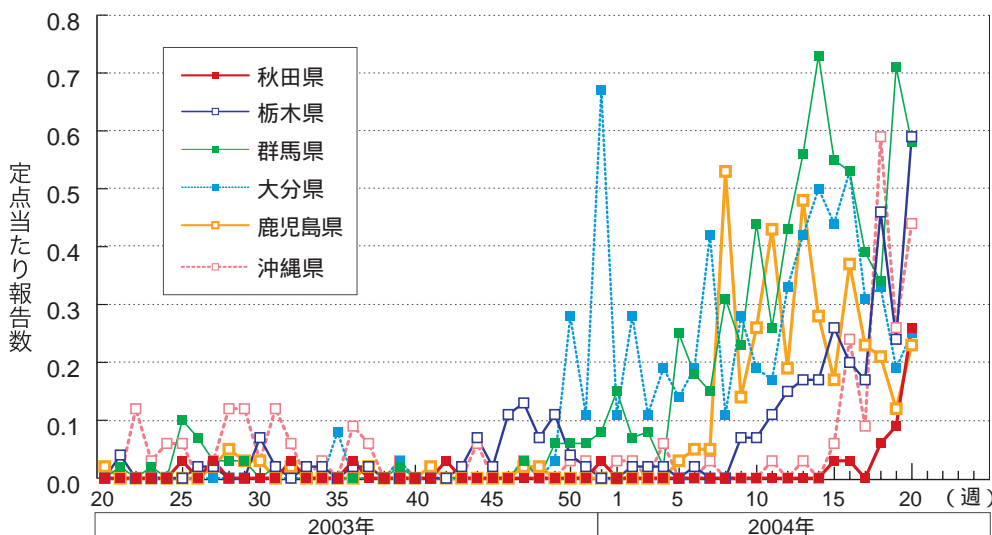
	総報告数	定点当たり報告数
1999年(4月～)	2,972	1.03
2000年	3,123	1.05
2001年	2,561	0.85
2002年	2,971	0.98
2003年	2,795 *	0.92 *
2004年(1～20週)	2,524 *	0.83 *

* 暫定値

昨年は岡山県において、ピーク時の定点当たり報告数1.43人という大きな流行が認められたものの、それ以外の都道府県での流行は認められなかった。本年は複数の都道府県において発生数の増加が認められている。第20週までの累積定点当たり報告数を都道府県別にみると、群馬県、大分県、鹿児島県が特に多く、次いで栃木県、沖縄県、福岡県、埼玉県などが多い。

第20週の全国からの報告数は243人、定点当たり報告数は0.08人であり、都道府県別では、栃木県(0.6)、群馬県(0.6)、沖縄県(0.4)、秋田県(0.3)、大分県(0.3)が多かった(図)。

図 . 風しんの週別報告数(2003年第20週～2004年第20週)



妊婦が妊娠初期に感染すると、出生児に感音性難聴、白内障または緑内障、心疾患を3主徴とした先天性風しん症候群(CRS)を起こすことがある。CRSは、妊娠16週までの感染で起こることが殆どである。CRSは1999年4月の感染症法の施行により全数把握疾患となり、1999年には報告がなく、2000～2003年は各1例であったが、本年は既に3例の報告があった。3例のうち2例は、2002～2003年に風しんの流行がみられた岡山県からである。

風しんの罹患歴や予防接種歴がない妊娠可能年齢の女性は、妊娠する以前に予防接種を受けておく必要がある。予防接種は、風しんとCRSを予防するための最大の手段と言える。しかし、これまでに報告された7例の母親の予防接種歴をみると、「なし」2名、「不明」4名で、「あり」が1名であった。このように、稀には罹患歴や予防接種歴がある場合でも十分な免疫が獲得されていないこともあるので、場合により妊娠前に抗体検査を行うことも必要と考える。

また、妊婦の風しん罹患を防止するためには、社会全体での風しんそのものを抑制することが必要である。そのためには、定期接種の対象者だけでなく、2003年9月まで行われた経過措置の対象年齢層(1979年4月2日～1987年10月1日生まれの者)を中心に、小児から成人まで、男女ともに免疫のない人々は任意接種を受けることが強く望まれる。

さらに、小児科ばかりでなく、特に妊婦や妊娠年齢の女性の管理を行う産科や婦人科、また発症時に診療する内科、皮膚科などにおいては、地域での風しんの流行状況などに細心の注意を払う必要がある。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

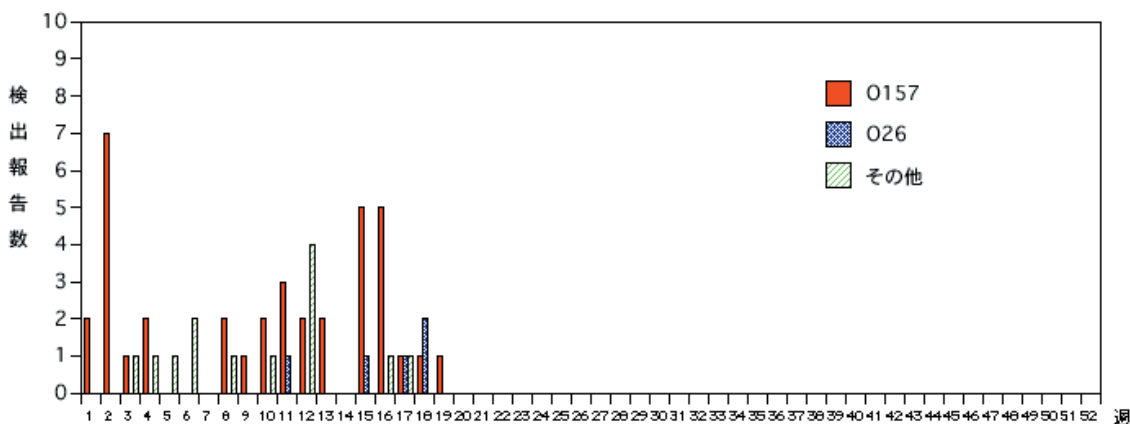
(2004年5月21日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

検出総数は55件で、うちO157が37件、O26が5件、その他の血清型が13件報告されている。いずれも散発事例、または家族内発生事例からの報告である。最近ではO157が第17、18週に大阪府から2件(いずれもVT1&2)、第19週に静岡県から1件(VT2)、O26が第17、18週に秋田県の家族内発生事例から3件(すべてVT1)報告されている。

また、この他に第16週に三重県で起きたO157による集団発生が1事例報告されており、VT1&2が6件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2004年 (病原微生物検出情報: 2004年5月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



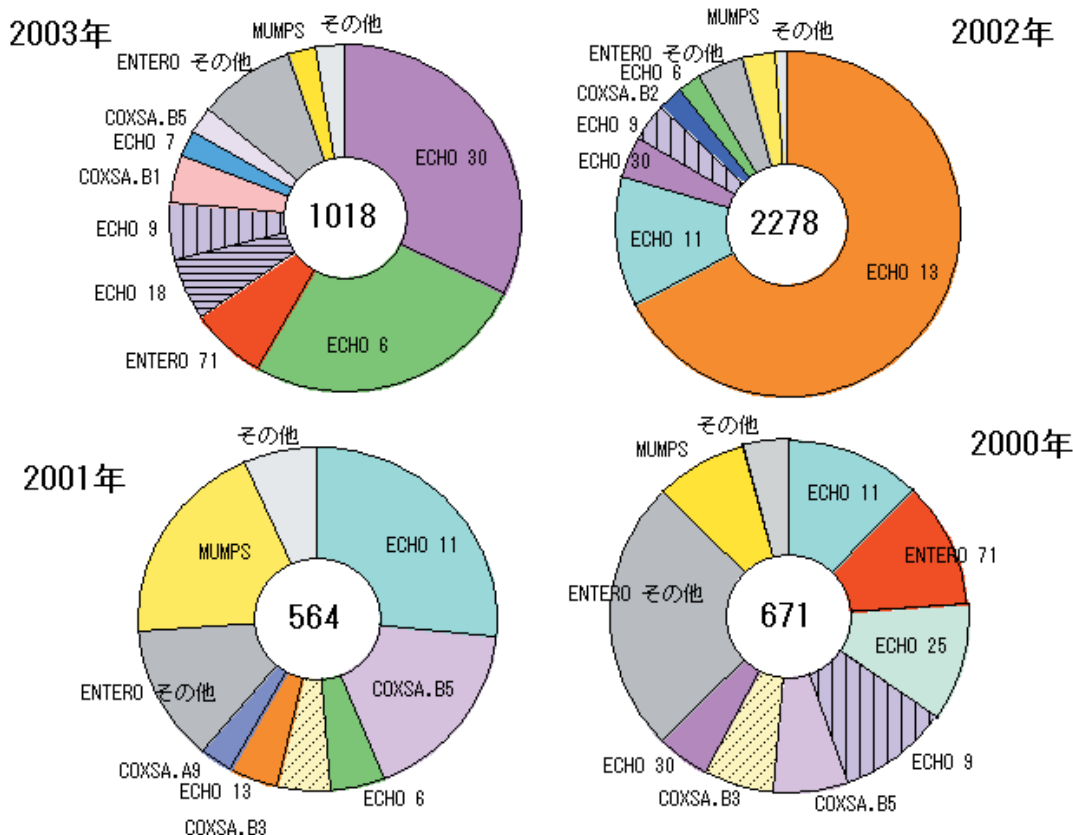
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

昨年(2003年)はエコーウイルス30型(E30)が327件、E6が266件と多くの報告があり、E30は1998年の流行以来5年ぶり、E6は1999年以来4年ぶりの流行であった(IDWR 2003年第48号病原体情報参照)。E30、E6ともに夏季に検出報告が増加し、E6は秋から初冬にかけても検出報告が続いた。

本年(2004年)はB群コクサッキーウイルス(CB)が10件報告されており、うちCB3が5件(香川県5)、CB1が3件(千葉県2、広島県1)、CB5が2件(大阪府、奈良県各1)である。エコーウイルス(E)は7件の報告があり、昨年多かったE6が4件(高知県、広島県、福岡県、熊本県各1)、E13、E18、E27が大阪府から各1件である。また、ムンプスウイルスが7件(奈良県3、東京都、広島県、岩手県、大阪府各1)報告されている。

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス、2000～2003年



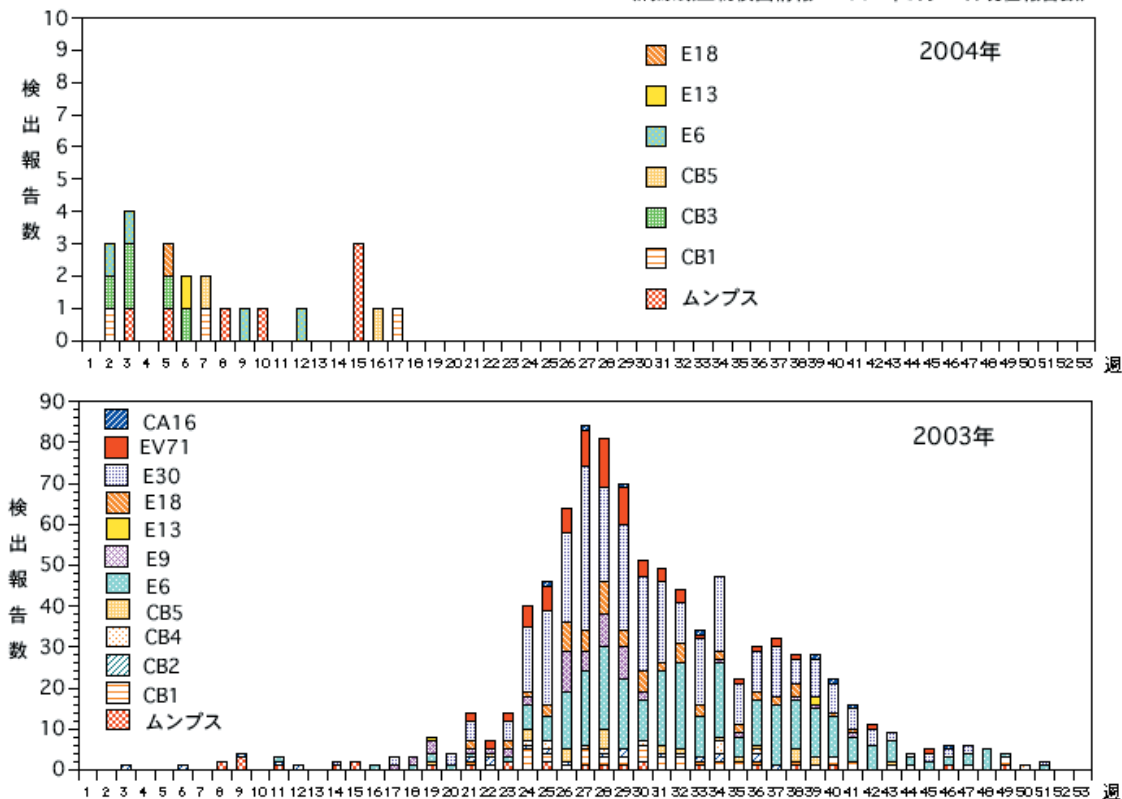
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した (病原微生物検出情報: 2004年5月21日現在)



Infectious Agents Surveillance Report

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告数、2003&2004年

(病原微生物検出情報：2004年5月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。



インフルエンザウイルス 2004年第17週(4/19～)以降

B型の分離報告が依然続いており、第17週以降第20週までの週別報告数は13、10、3、4、計30である。北海道(IDWR第17号速報記事参照)からの報告が計13件で最も多く、次いで愛知県5(第17週)、島根県4(第17～19週)、沖縄県4(第18週)、秋田県3(第17週)、宮城県1(第17週)から分離が報告されている。愛知県の5件は小学校での集団発生からの分離である(本号速報記事参照)。



<通知> 平成16年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について

薬食発第0513003号
平成16年5月13日

国立感染症研究所長 殿

厚生労働省医薬食品局長

生物学的製剤基準(平成16年3月30日厚生労働省告示第155号)の規定にかかる平成16年度のインフルエンザHAワクチン製造株について、下記のとおり決定したので通知する。

記

A型株

A / ニューカレドニア / 20 / 99(H1N1)

A / ワイオミング / 3 / 2003(H3N2)

B型株

B / 上海 / 361 / 2002

集団かぜからのB型インフルエンザウイルスの分離 - 名古屋市

名古屋市における2003/04シーズンの集団かぜの発生は、2004年2月24日(第9週)で終息していた。しかし、4月21日(第17週)に再び緑区内の小中学校で集団かぜの発生があり、B型インフルエンザウイルスが分離されたので、患者発生状況、分離状況、血清検査成績について報告する。

患者発生状況: 小中学校2年に集団かぜによる学級閉鎖がみられた。当該区の感染症発生動向調査におけるインフルエンザ患者数としては、第17週に1名の報告があるが、前後の週には報告はなかった。

ウイルス分離状況: 5名の患者からうがい液を採取し、定法に従い検体処理し、MDCK細胞に接種した。全例に細胞変性効果が観察された。それらにつき、0.75%モルモット赤血球で培養上清のHA価を測定したが、全例に64～128倍のHA価が認められた。国立感染症研究所分与の2003/04シーズン用インフルエンザウイルス同定キットを使用し、HI試験を行ったところ、HI価は、抗A/Moscow/13/98(H1N1)(ホモ価 1,280)、抗A/New Caledonia/20/99(H1N1)(ホモ価 320)、抗A/Panama/2007/99(H3N2)(ホモ価 640)、抗A/Kumamoto(熊本)/102/2002(H3N2)(ホモ価 160)、B/Shandong(山東)/7/97(ホモ価80)の各フェレット感染免疫血清に対して<10、B/Johannesburg/5/99(ホモ価 1,280)の羊高度免疫血清に対して160～1,280を示した。このことから、分離ウイルスは山形系統のB型インフルエンザウイルスと考えられた。

血清検査成績: 4名のペア血清では全例に、分離株に対して抗体価の有意な上昇が見られた。また、B/Johannesburg/5/99に対しては3例、B/Shandong(山東)/7/97に対しては2例に有意な上昇が見られた。

今シーズン名古屋市では、B型インフルエンザウイルスは分離されていなかった。B型インフルエンザの集団かぜの発生があったにもかかわらず、地域のインフルエンザ患者数の増加が見られなかったのは、時期がずれると、インフルエンザの診断名がつきにくいことも一因と考えられる。

名古屋市衛生研究所微生物部
 後藤則子 木戸内 清
 健康福祉局健康部健康増進課結核感染症係
 林 昌徳
 緑保健所保健予防課保健感染症係
 原田清仁 小酒井葉子 日下部一雄

(IASR2004年6月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

福岡市における風しんの流行状況とその対策

福岡市における最近の風しんの流行については、感染症発生動向調査上、市西部地域において局地的な流行が認められた。すなわち、平成16年第12週から報告がみられはじめ、第15週(4月5日 ~ 4月11日)から第18週(4月26日 ~ 5月2日)の間は、管轄保健所管内の定点当たり報告数は1.00 ~ 2.00人で推移した(同時期の福岡市全域における定点当たり報告数は0.36 ~ 0.43人)。この間、管轄保健所管内の医療機関からは、特定の小学校の児童や保護者、保育園の児童や保育士に風しんの罹患が複数みられるとする情報提供もあった。第19週(5月3日 ~ 5月9日)における管轄保健所管内の定点当たり報告数は0.60人、福岡市全域における定点当たり報告数は0.21人であった。

[市の対応]

4月上旬に厚生労働省及び福岡県から「先天性風しん症候群の発生防止について」の通知もあったことから、福岡市において下記のような対応を行った。

- 1)厚生労働省の通知を踏まえ、保健福祉局保健予防課、同研修指導課(保育所所管)及び教育委員会保健体育課(小・中学校及び幼稚園所管)で対応について協議を行い、各担当部局から市内の各保健所長、各学校長、園長、保育所長あてに厚生労働省からの通知文を添付した文書を出し、風しんの流行状況、対策、予防接種の勧奨等について周知を行った。
- 2)保健福祉局研修指導課が主催した主任保育士研修会において、風しんの流行状況と対策について情報提供と、児童の予防接種確認や職員、保護者への注意喚起について指導を行った。
- 3)市発行の「市政だより」5月15日号(各戸配布の市民向け広報紙)に風しんに関する記事を掲載し、市民に対して風しんの流行に関し注意喚起を図り、ワクチン接種を呼びかけた。

[管轄保健所の対応]

感染症発生動向調査や医療機関の情報ネットワークによると、流行が局地的であることから、管轄保健所としてさらに下記のような対応を行った。

- 1)管轄保健所から地元医師会及び産婦人科医院に対し、風しんの流行に関して、文書により注意喚起を行った。
- 2)管轄保健所のホームページに、風しんの流行に関する情報を掲載した。

昨年度の風しん予防接種の経過措置終了に向けては、様々な広報活動を強化して、その接種の勧奨につとめた。その結果、平成15年4月 ~ 9月は経過措置の対象者で接種を受けた者は2,425名(H14.4 ~ H15.3 参考738名)に増えたが、今後も市民に対する風しん予防接種の必要性などの周知を図る必要がある。

今回の経験をふまえ、感染症発生動向調査や医療機関よりの情報提供などを含め、感染症発生状況を迅速に察知し、適切なまん延防止策や市民や関係機関への情報提供に努めていく。

福岡市保健福祉局保健予防課



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

スーダン南部でのエボラ出血熱流行

WHO/CSR Disease Outbreak News 2004年5月18日

2004年5月10日時点でWHOは、スーダン南部のWestern Equatoria州、Yambio郡にあるHai-Cubaで急性出血熱症候群患者数例を報告した。状況を調査するため、迅速評価チームが現地入りしている。臨床検体が採取され、予備的な検査結果が間もなく判明する予定である。

WHO/CSR Disease Outbreak News 2004年5月24日

2004年5月24日現在、スーダン南部のWestern Equatoria州Yambio郡の保健当局は、当地での死亡者4名を含むエボラ出血熱患者19名の発生を報告した。ケニア医科学研究所(KEMRI)および米国CDCで実施された診断検査により、エボラ出血熱の診断が確定した。

WHOスーダン南部早期警戒対応ネットワーク(EWARN)は、WHO本部からのチームと共に、流行を制圧するための危機管理委員会設置を支援し、Yambio郡で現地保健当局や関係機関と緊密に協力して作業している。

同委員会には、UNICEF、国境なき医師団フランス、他の非政府組織および公衆衛生活動を行う教会関係者が参加している。同委員会は社会動員、Yambio病院での患者治療支援、患者との接触者の経過観察の組織化について、積極的に活動している。

現在、流行はYambio周囲に限局されている模様であるが、隣接する諸国には情報提供がなされた。現段階でWHOはこの流行に関して、いかなる渡航および貿易上の特別な規制も勧告していない。

中国でのSARS流行 - 更新7

WHO/CSR 2004年5月18日

中国での今回のSARS流行における最後の患者が隔離されてから3週間以上が経過し、WHOはヒト～ヒト感染伝播の連鎖が途絶したことを宣言するよう促されている。しかし、WHO専門家と中国当局者は引き続き、この集団発生の正確な原因を解明するための努力を続けている。この調査は、感染性のある、あるいは不活化されたSARSコロナウイルスを使用した実験が実施されていた北京の国立ウイルス学研究所に主に重点が置かれた。この研究所で2名の研究者が2004年3月下旬から4月中旬にSARSを発症した。流行は4月22日に報告され、研究所は翌日閉鎖された。

予備的調査結果では、まだ研究室における単一の感染源や、単一の技術的過誤は同定されておらず、正確な答えが得られない可能性もある。いずれの研究者も、直接感染性のあるSARSコロナウイルスを使用した実験には従事していなかった。しかしながら調査者らは、この研究所におけるバイオセーフティの実践について、いつどこでSARSコロナウイルスを用いた実験がなされたか、そして、どこにどのようにSARSコロナウイルスの検体が保存されていたかなどに関する重大な懸念を抱いている。

WHOと中国当局は、研究室関連SARS患者の発生に懸念を抱いている。WHOはあらゆる加盟国に対して、今回の流行が、SARSコロナウイルス研究を実施する研究所・研究室の生物学的安全性実施を再評価する良い機会であるとして警告している。

2003年のSARS流行の間とそれ以降につき、可能性あるヒト患者、動物、環境から多数の検体が採取された。感染性のあるSARSコロナウイルスを含む可能性のあるこれらの検体は、世界中

の様々な研究室が保有している。これらのうちのあるものは、不適切な生物学的封じ込めレベルの研究室に保存されている。SARSコロナウイルスはリファレンス・研究検査室で増幅され、その他の研究室に研究目的で提供されている。感染性のある、あるいは不活化SARSコロナウイルス(およびその他重篤な疾患を来たし得る病原体)を使用した研究は、多数の研究室で実施されている。

WHOは、以下の研究室安全性ガイドラインと勧告を発行している:

SARS検体の取り扱いに関するWHO生物学的安全性ガイドライン(2003年4月25日)

http://www.who.int/csr/sars/biosafety2003_04_25/en/

SARS検査室ワークショップにおける議論と勧告の抄録(2003年10月22日)

<http://www.who.int/csr/sars/guidelines/en/SARSLabmeeting.pdf>

SARSコロナウイルス検体取り扱いと培養に関するWHO流行後生物学的安全性ガイドライン(2003年12月18日)

http://www.who.int/csr/sars/biosafety2003_12_18/en/

これらのガイドラインのなかでWHOは、感染性のあるSARSコロナウイルスを使用した研究を行うには、必要とされる封じ込めレベルは最低限バイオセーフティレベル3(BSL3)であると強く勧告している。WHOは加盟国に対して、感染性のあるSARSコロナウイルスを用いた作業をしたり、貯蔵したりする研究室の登録制を維持し、必要なバイオセーフティレベルが実施されていることの確認をするよう勧告している。

WHOは中国当局が、一旦今回の流行が確認され報告された後に、徹底した接触歴調査と隔離、このような人々の医学的観察により迅速な対応をとったことを賞賛した。再びSARSが制圧可能な疾患であることが示された。



感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/kansen/index.html>
でご覧いただけます。



読者のコーナー

投稿：風疹と先天性風疹症候群に関するお便り

(岐阜市 K.K.さん)

毎週IDWR感染症週報・月報を見せて頂いている読者です。私は医療関係者でも有りません。普通の主婦です。

そんな私が何故こちらのHPを見させて頂いているかと言いますと、私の娘は先天性風疹症候群(CRS)の障害を持っていました。今から21年前にCRSを持った娘が生まれました。結婚7年近く経って不妊治療4年目に授かった娘です。妊娠初期に私が風疹にかかったために、娘は白内障・聴覚障害・心臓病の障害を持って生まれました。私は幼稚園の時に、当時でいう三日ばしかにかかっていた。だから、風疹は人ごとと思っていた。娘は今から3年前に、18歳2カ月で旅立ってしまいました。

私は今、私のホームページで娘の生まれた証として娘の足跡を残しています。そして、【風疹の予防接種のお願い】と言うページを作って、私なりに風疹の予防接種を呼びかけています。4月9日に厚生労働省が記者会見を開き、注意を呼びかけたニュースが発表されて以来、10,000件を超すアクセスがあります。

私は娘を妊娠したときに、風疹に関する情報として、妊婦がかかると出生児に重い障害が出るという聞きましたが、正確な情報は知りませんでした。あの時風疹にかからなければ、娘に重い障害を持たせることも旅立たせることもなかったでしょう。そんな想いは私だけで充分です。

娘を育てているときは、娘との日々の生活に精一杯でした。娘の命を守ろう、娘に生きていく実感できるような生活をさせようと、大勢の皆さんのお力をお借りして、娘の笑顔を見て過ごしていました。しかし、肺高血圧症の症状が悪化して、右心室肥大による肺出血のため、18歳2カ月で旅立ってしまいました。「娘を守ってあげられなかった」そんな想いでいっぱいでした。ホームページを作ったことで、娘と向き合うことになって、私がなすべきことが見えてきました。CRSという障害を知って貰うこと、そして、風疹の予防接種の必要性に気づいて貰うことです。

今回の風疹の流行の兆しには胸が痛くなります。大流行になる前に、1人でも多くの方が予防接種の大切さに気づいて欲しいと願っています。そのために、毎週IDWR感染症週報・月報を見せて頂いていました。ところが今回、母親が以前予防接種を受けていたのに感染を防げなかったという記事を見て、もっと悲しくなりました。私もそうですが、風疹の抗体が残らない人もいると言うことを、前にも聞いたことがあります。私のHPの掲示板にも、風疹の抗体が残らないと書き込まれた人がおられました。私はその人の書き込みに対して、「だからこそ風疹の予防接種をお願いしたいと思っています」と書きました。

抗体が残らない人や、体調のためどうしても予防接種できない人が安心して生活できるため、そして妊娠できるように、女性だけでなく、予防接種を受けられる年齢の方は男女問わず受けて頂き、風疹の流行を押さえ込んで撲滅できたら、CRSを持った子供さんが生まれません。

私は娘を授かったお陰で、親として一番大切なことを教えられました。娘と過ごした18年は大切な宝物の時でした。でも、同じ思いを誰にもして欲しくありません。あるいはせっかく授かった大切な命を、中絶という方法で亡くしてはならないと思っています。

障害を否定するわけではありません。でもできることなら、皆が予防接種を受けて、防ぐことのできる障害を防いで欲しい、大切な命を守ってあげて欲しい、元気で健康に産んで上げて欲しいと願っています。

これは自分一人で何とかなる問題ではありません。「風疹の流行が本格的になる前に、谷間の世代の子供達に広がる前に何とかしなくては」、今はそんな想いで一杯です。

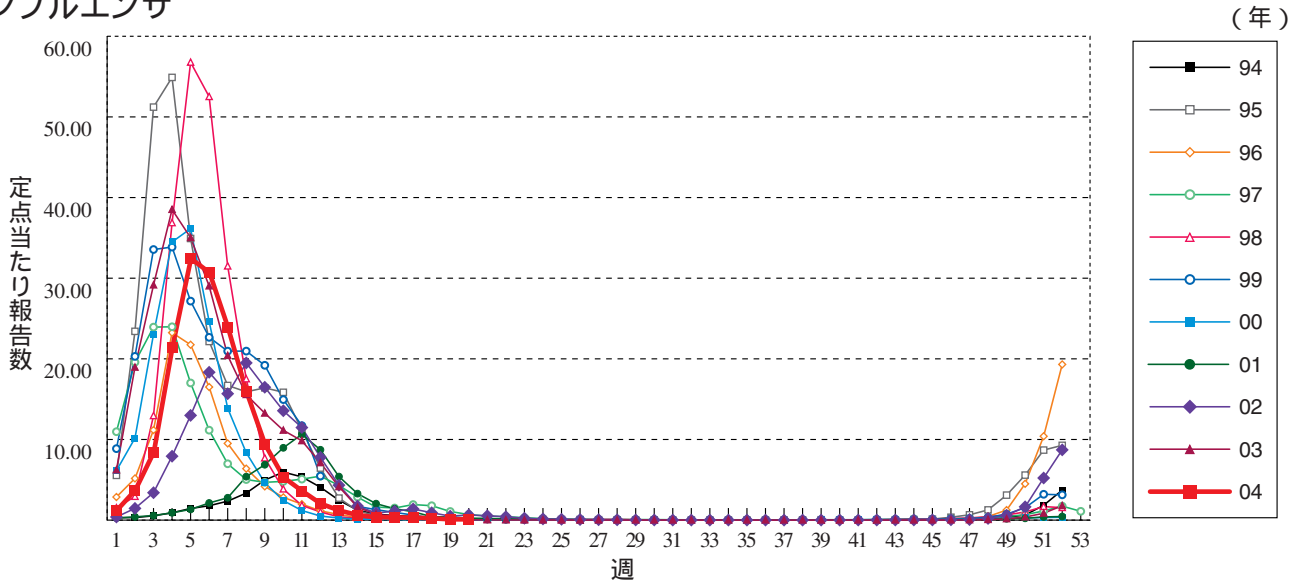
娘が、「お母さん、私の思い伝えてね。私と同じ思いはもう良いから、CRSの障害をなくしてね」と言っているように思えるのです。どうぞ、こんな母と娘の思いに皆様のお力をお借りできたらと思います、読者のページに投稿させて頂きました。どうぞ宜しくお願いします。

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

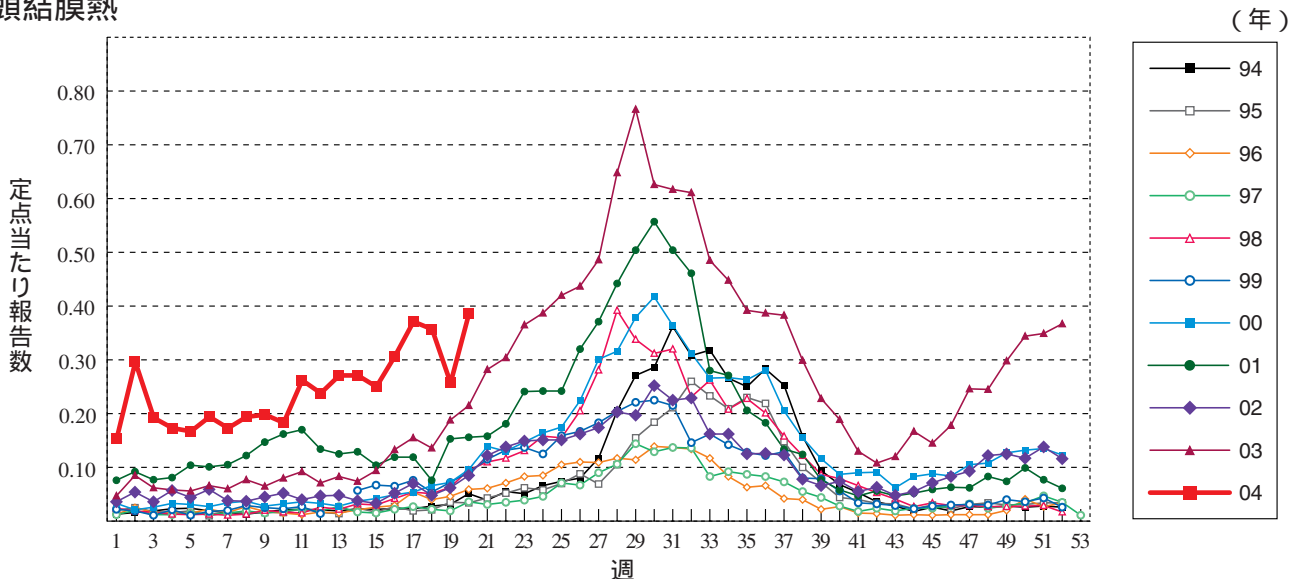
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(20週)

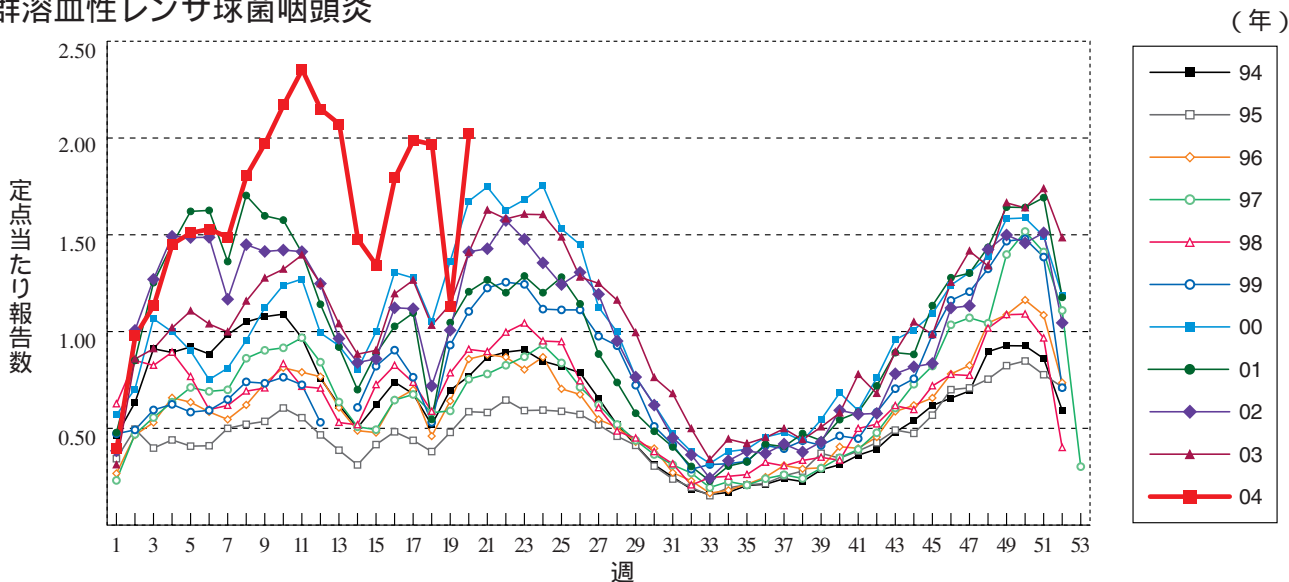
インフルエンザ



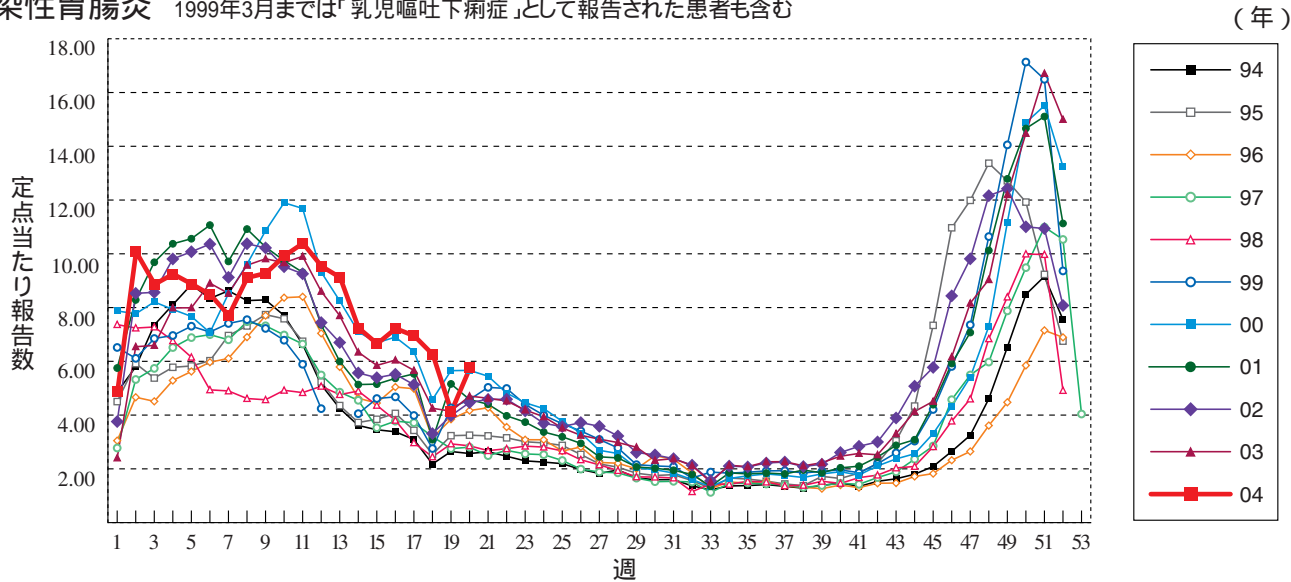
咽頭結膜熱



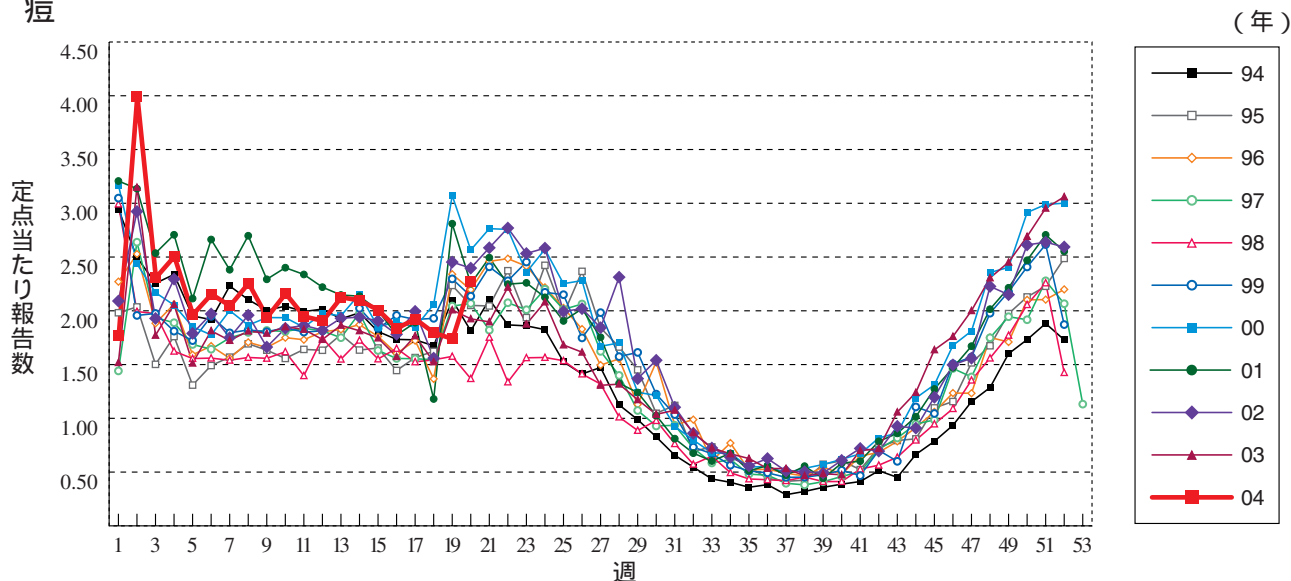
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



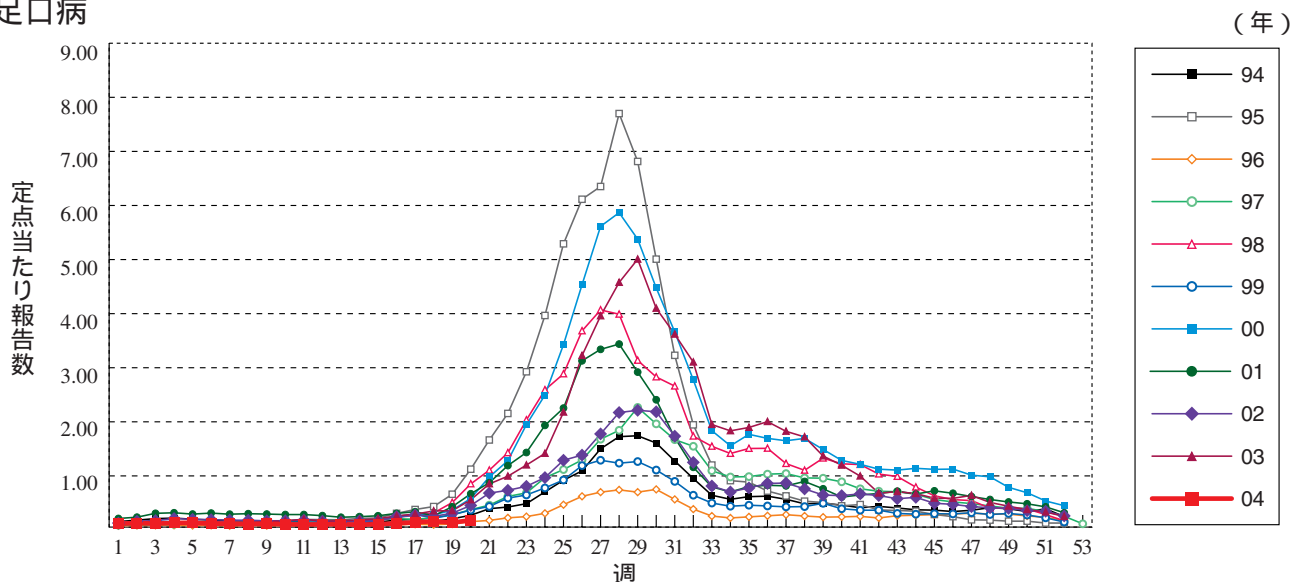
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



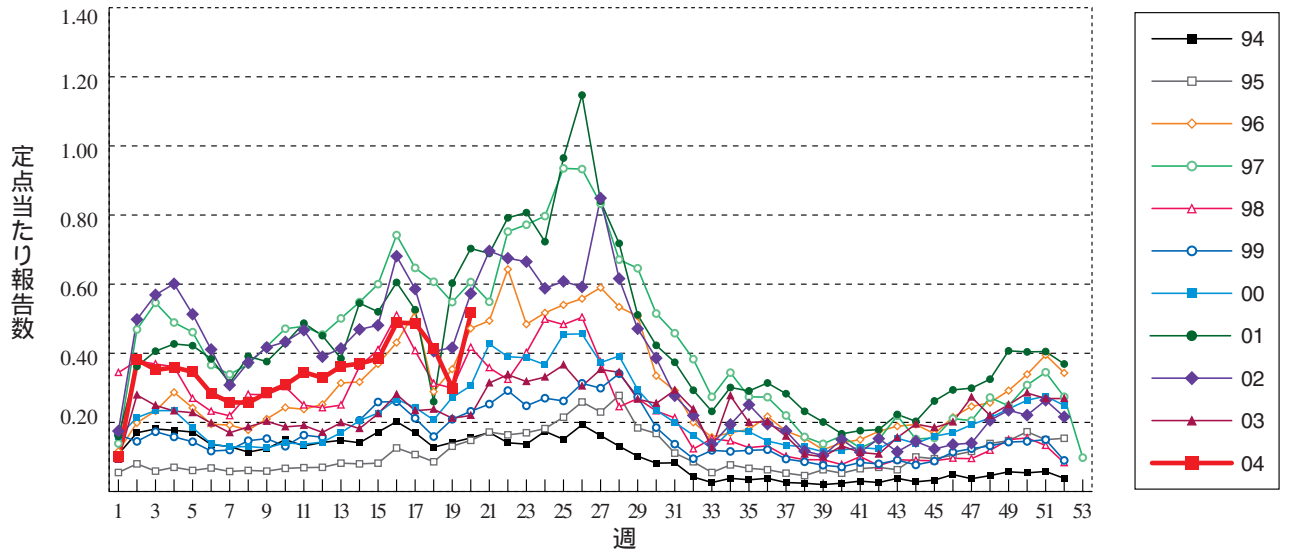
水痘



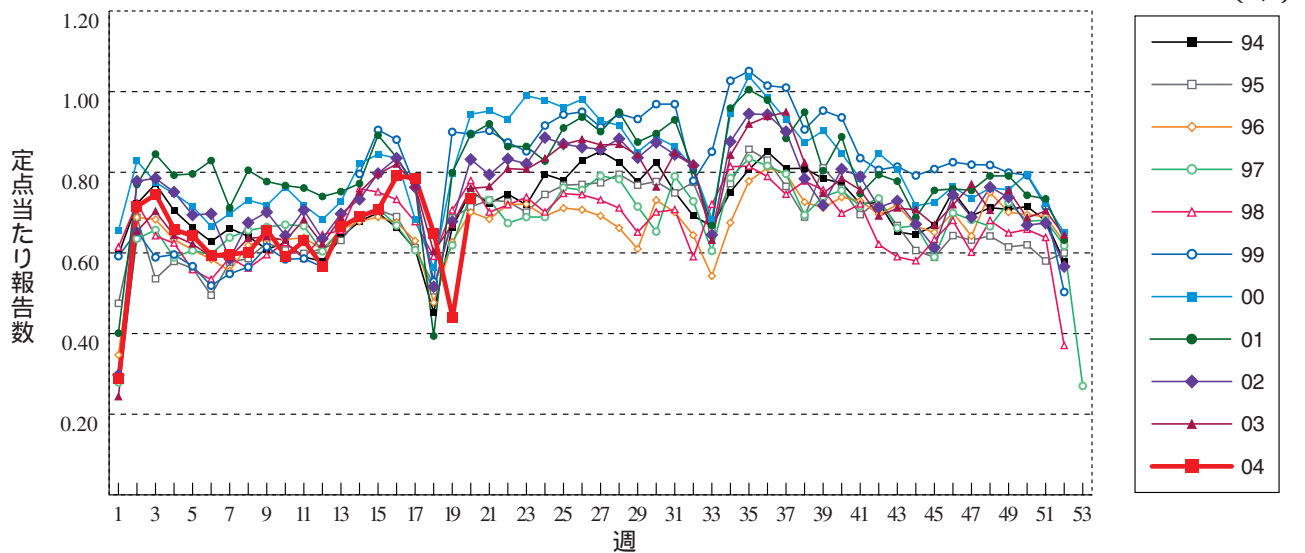
手足口病



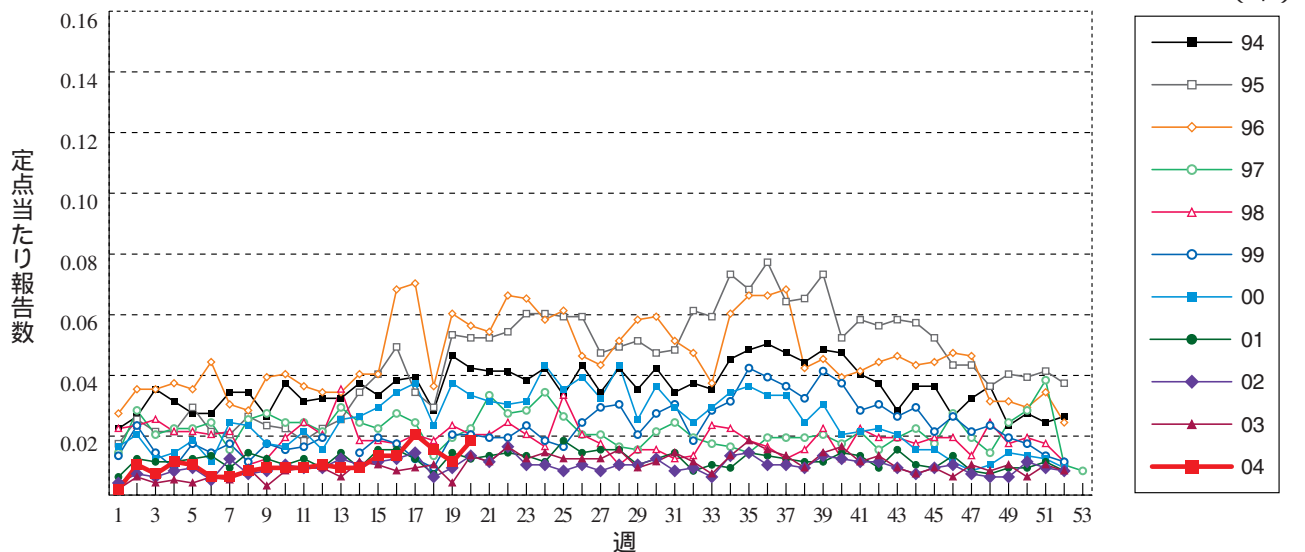
伝染性紅斑



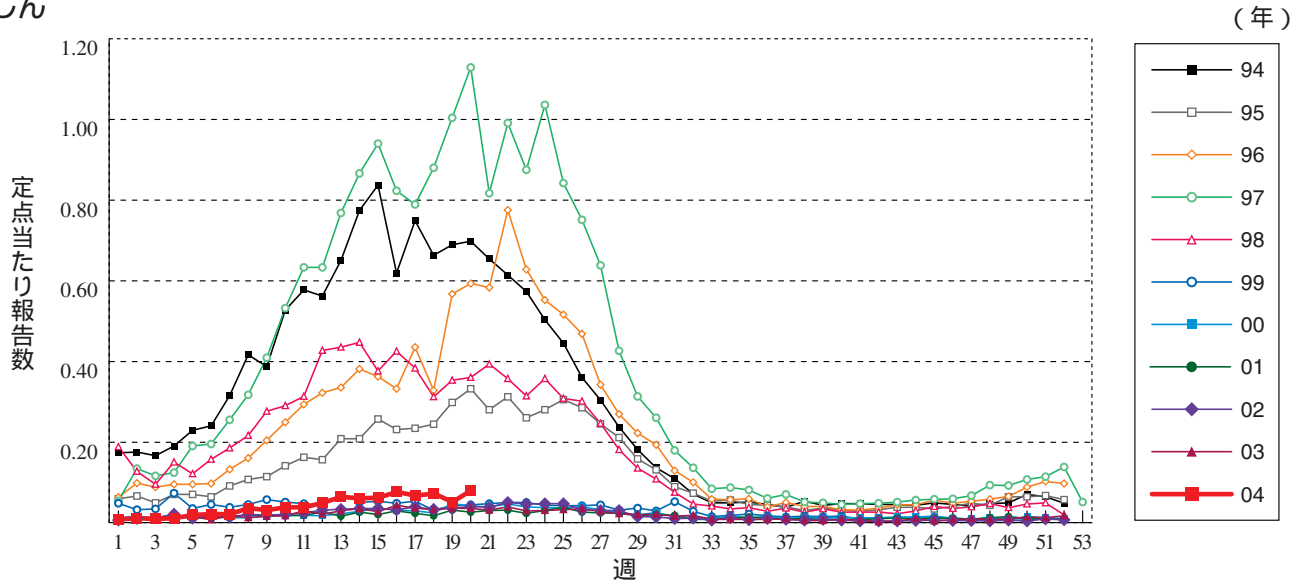
突発性発しん



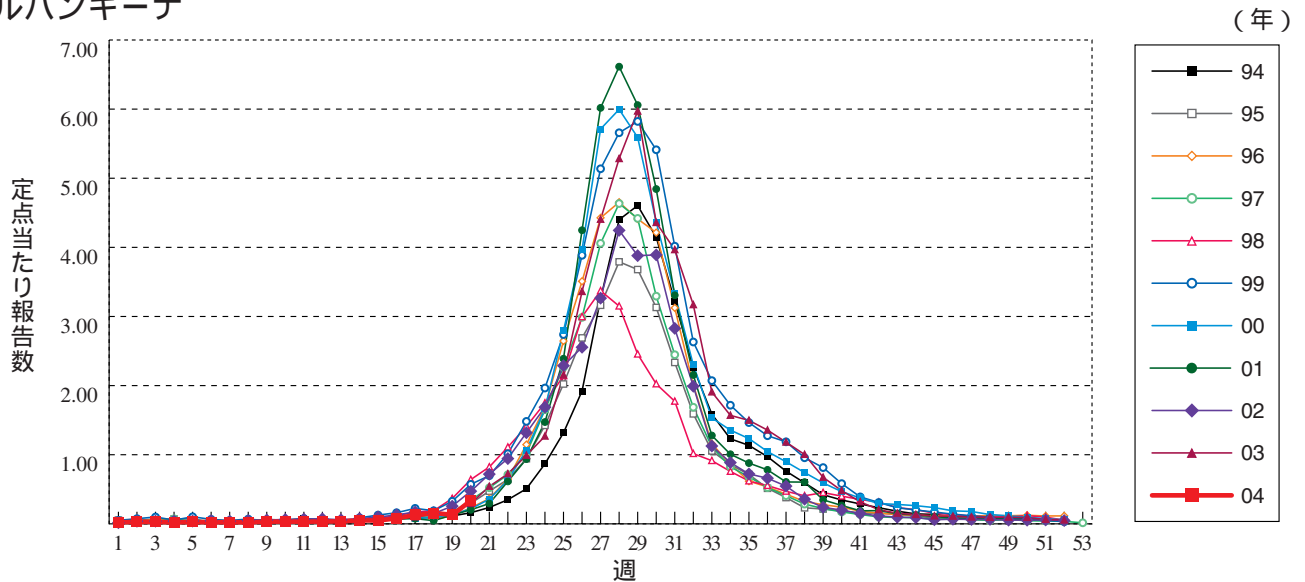
百日咳



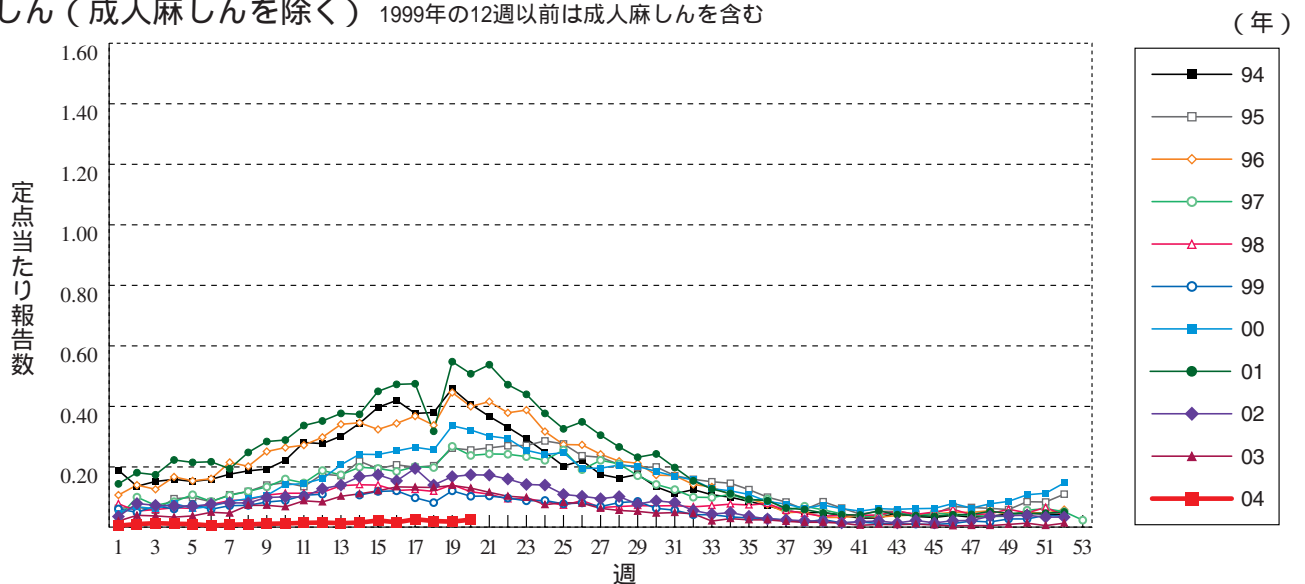
風しん



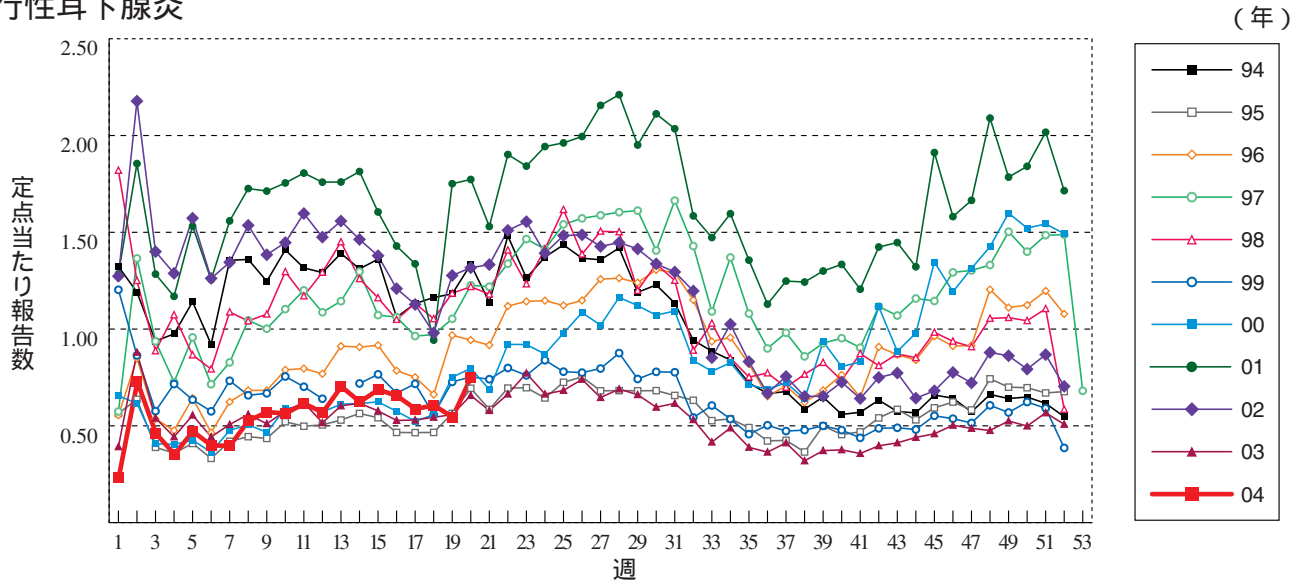
ヘルパンギーナ



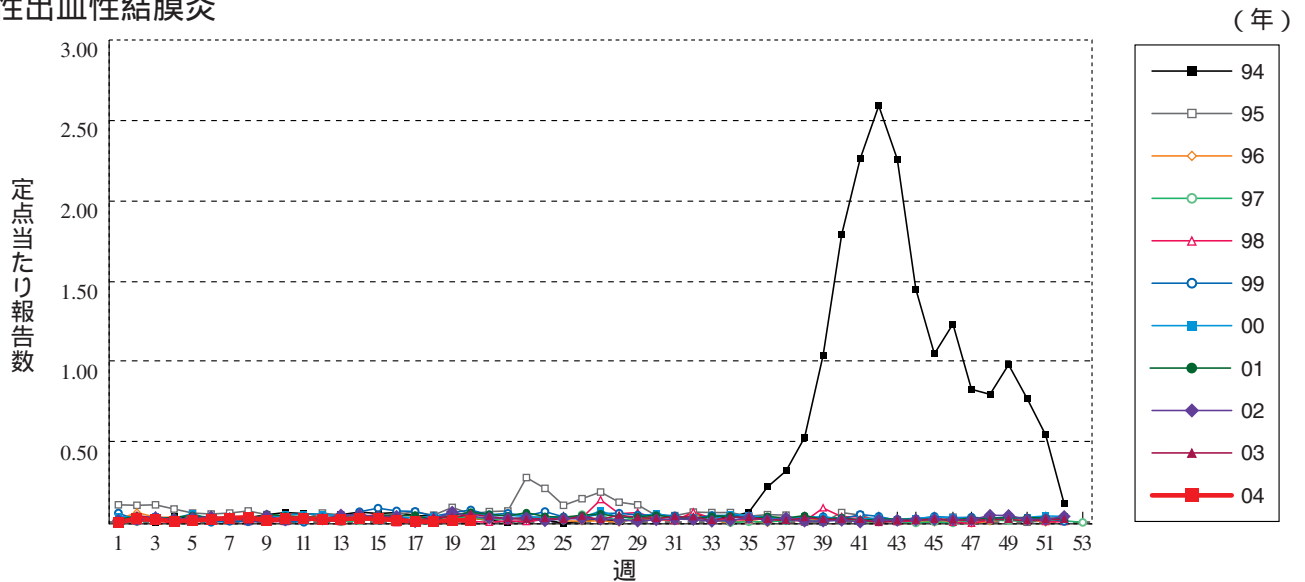
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



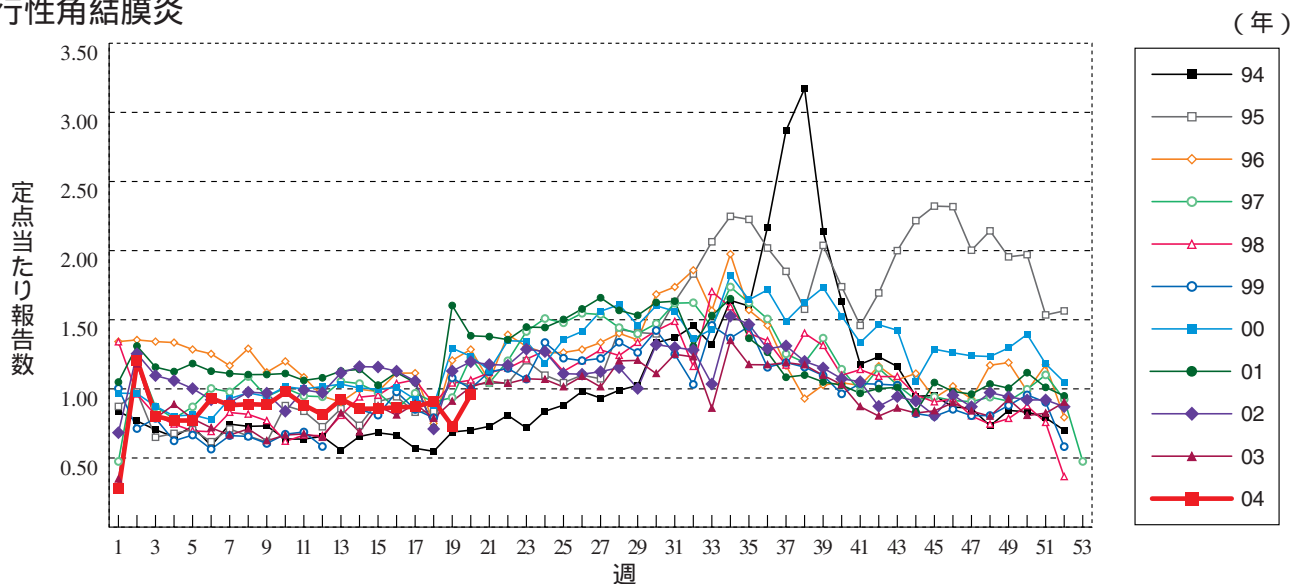
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

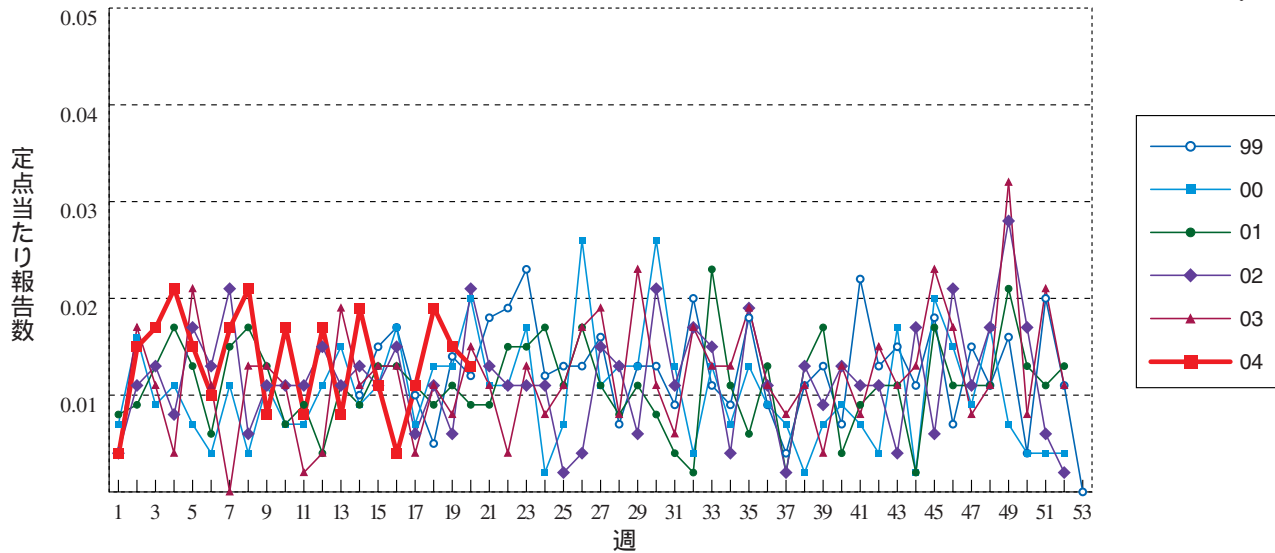


流行性角結膜炎



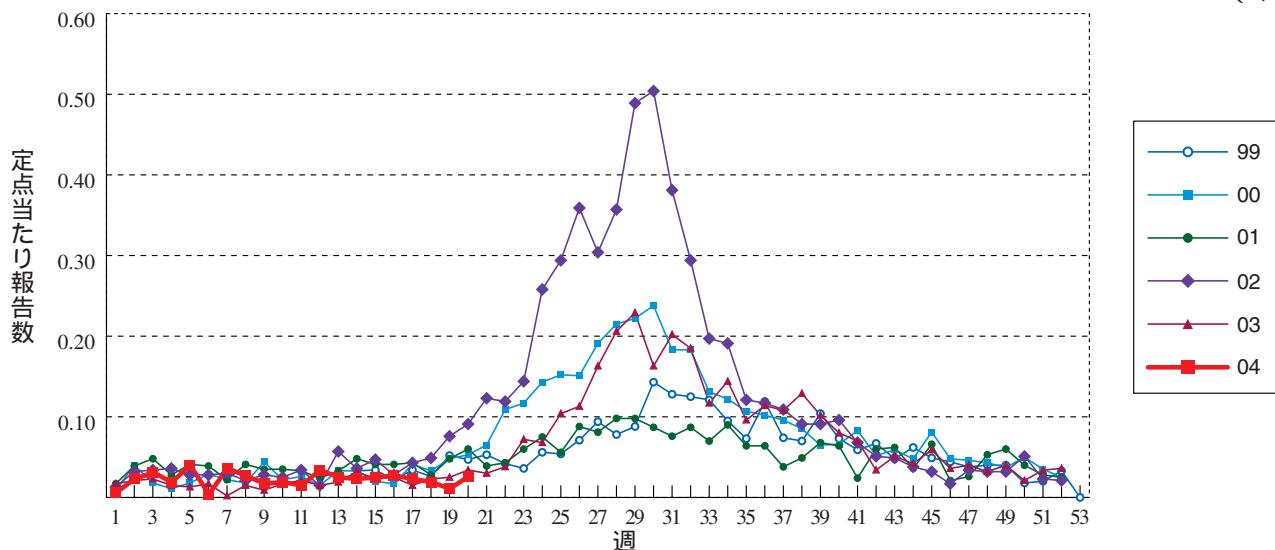
細菌性髄膜炎

(年)



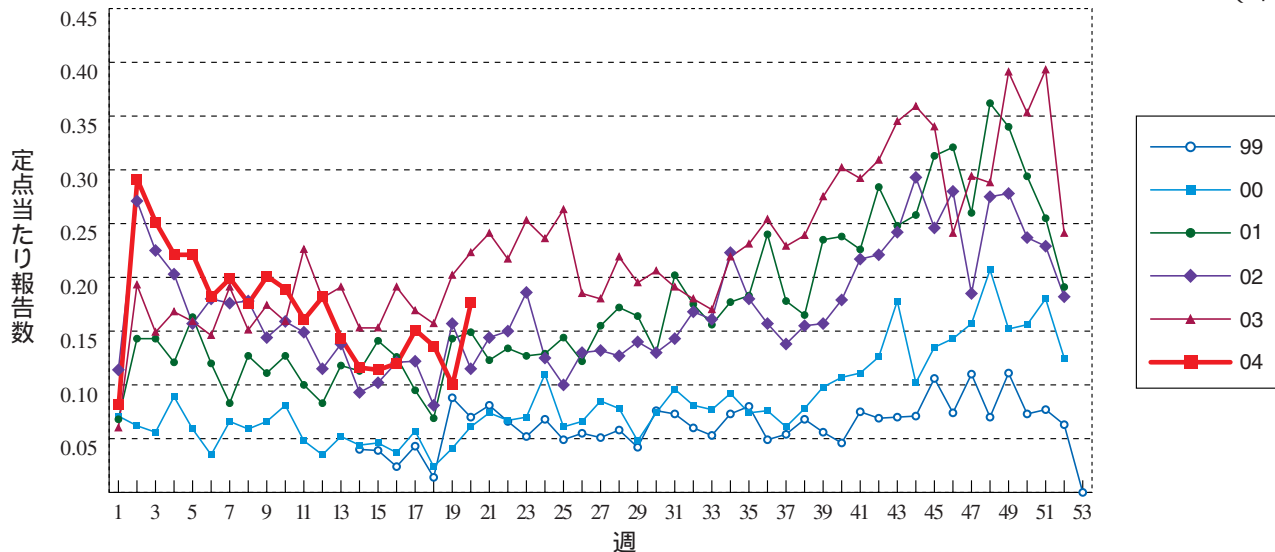
無菌性髄膜炎

(年)



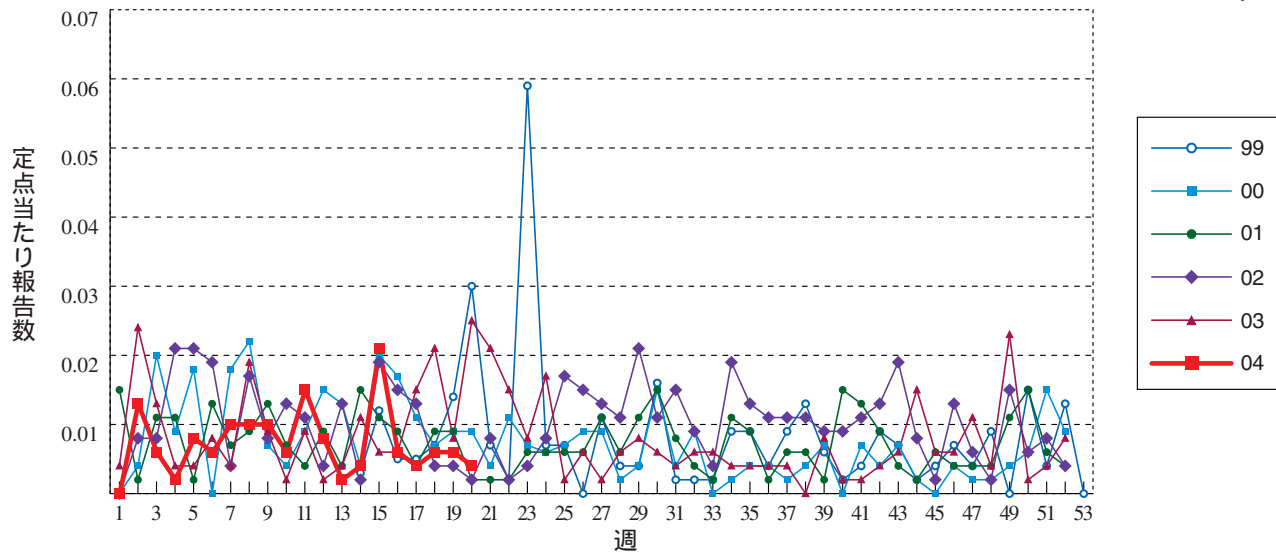
マイコプラズマ肺炎

(年)



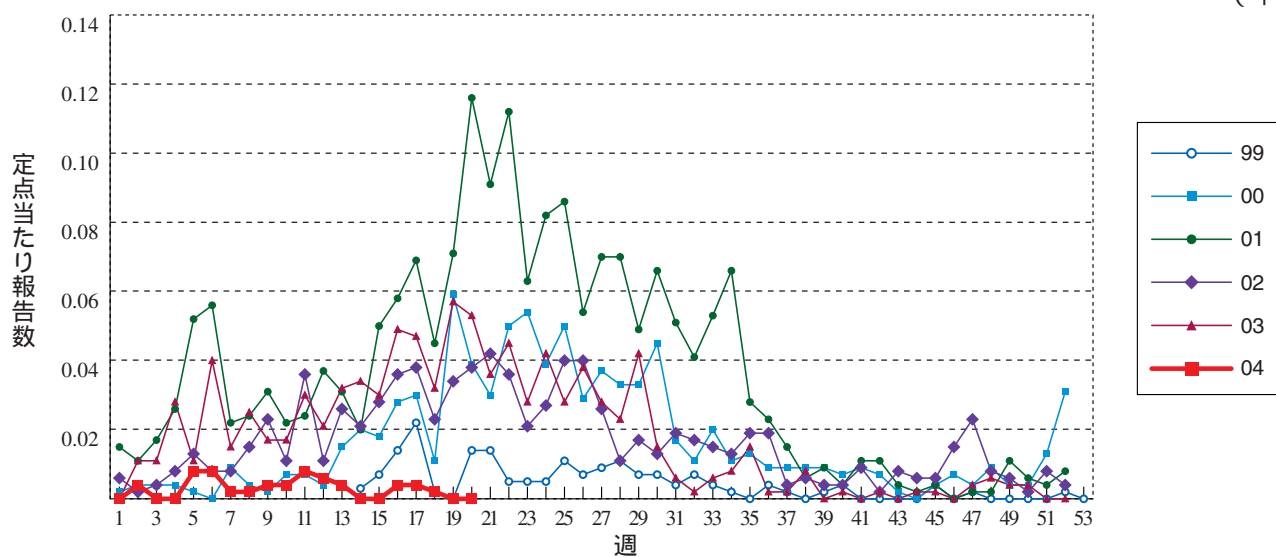
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

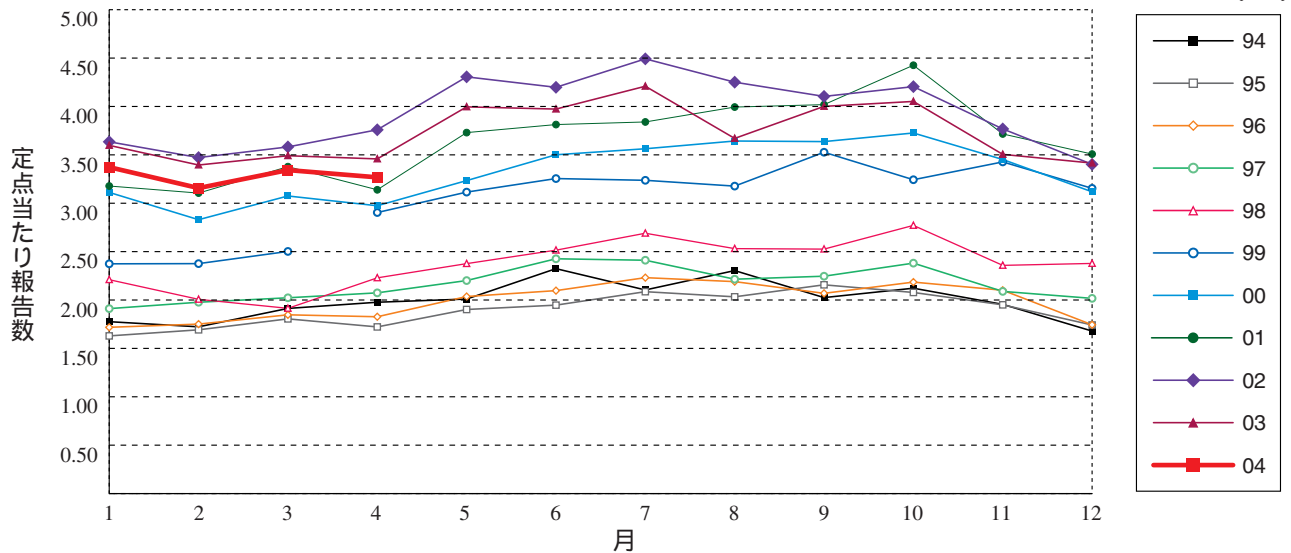




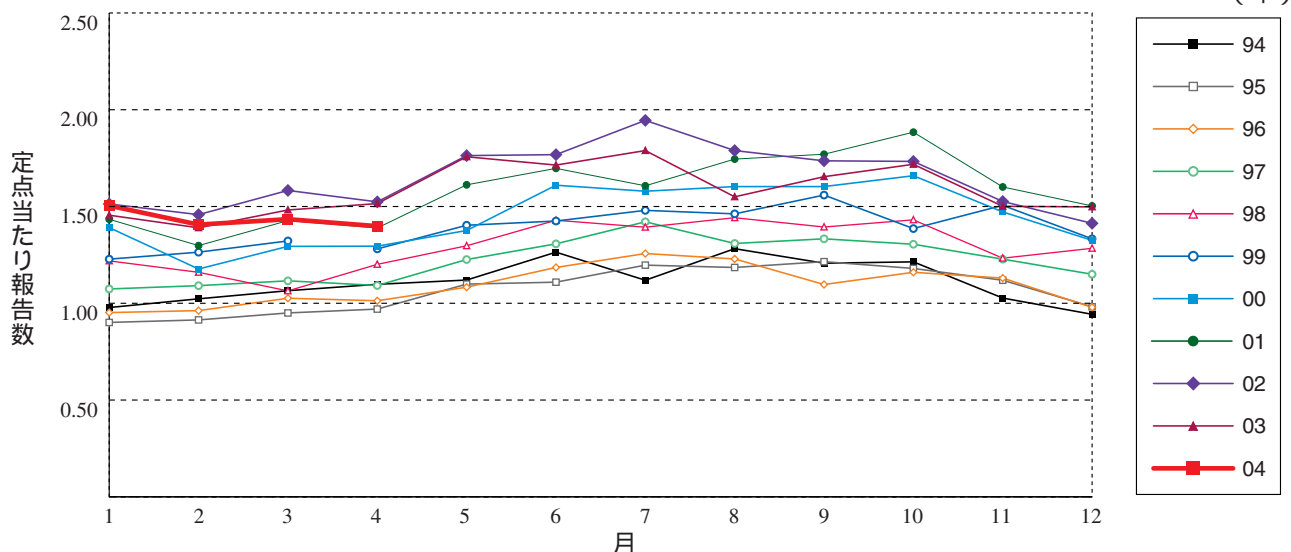
グラフ総覧(4月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

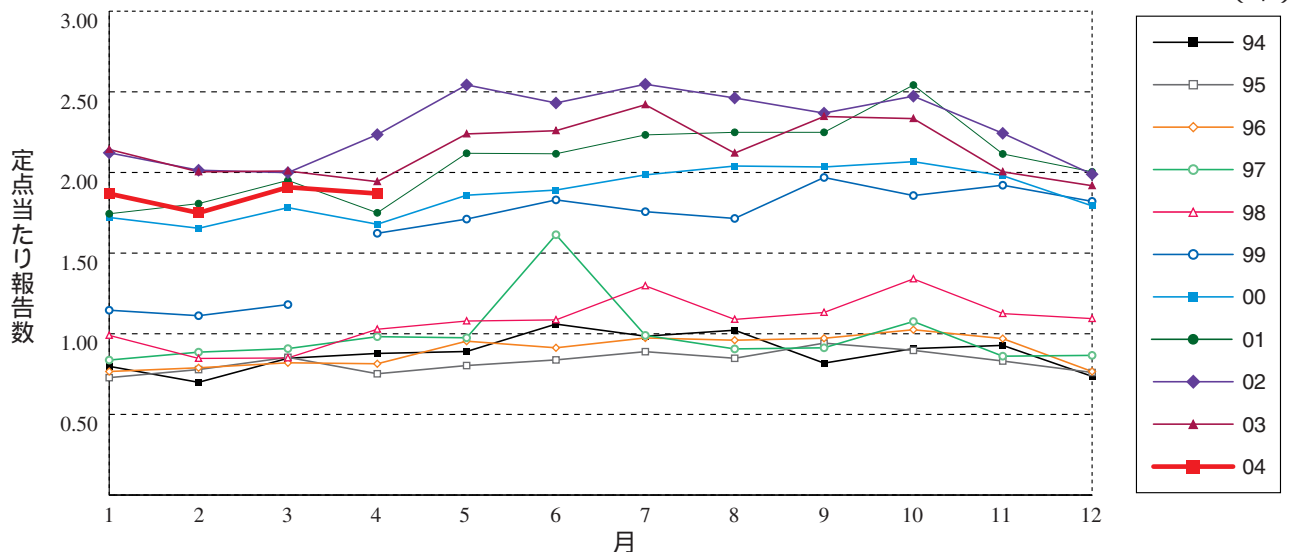
性器クラミジア感染症(総数)



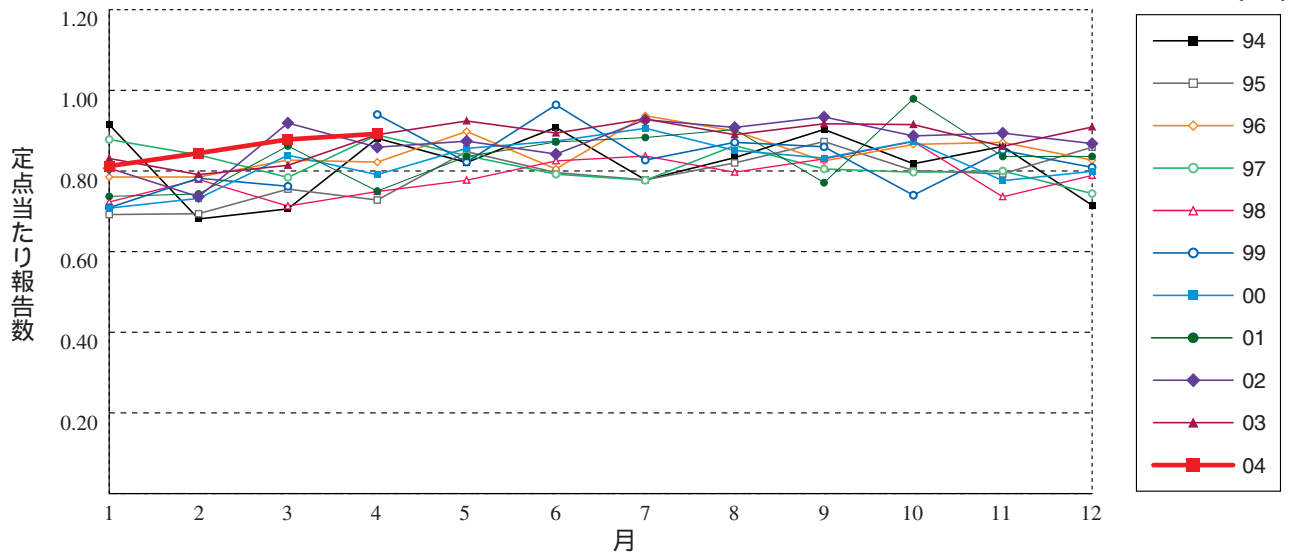
性器クラミジア感染症(男性)



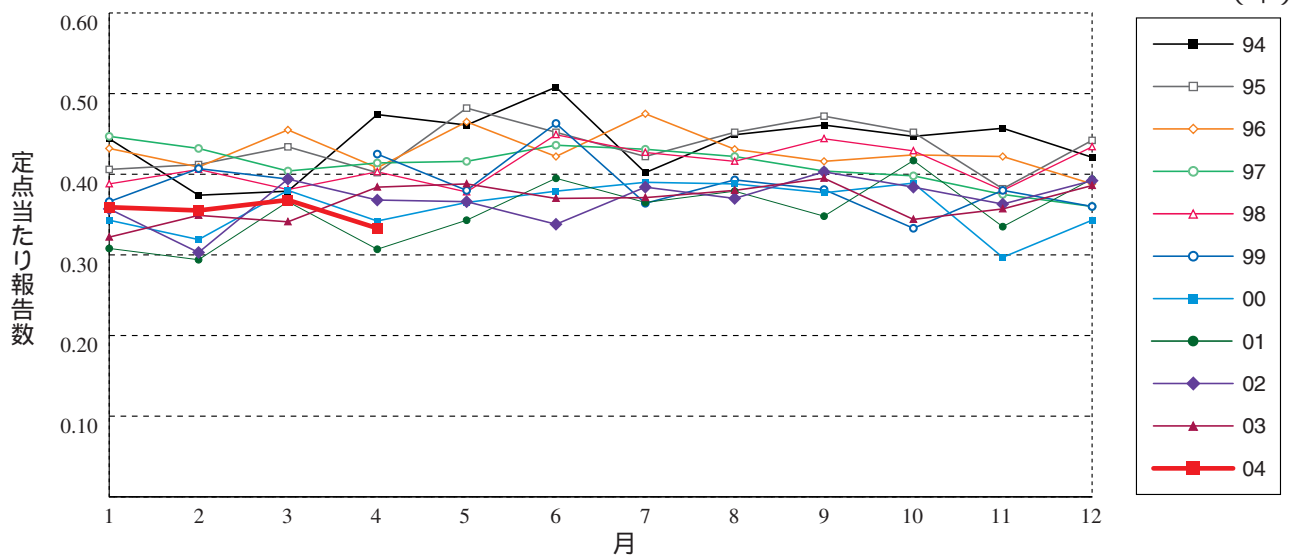
性器クラミジア感染症(女性)



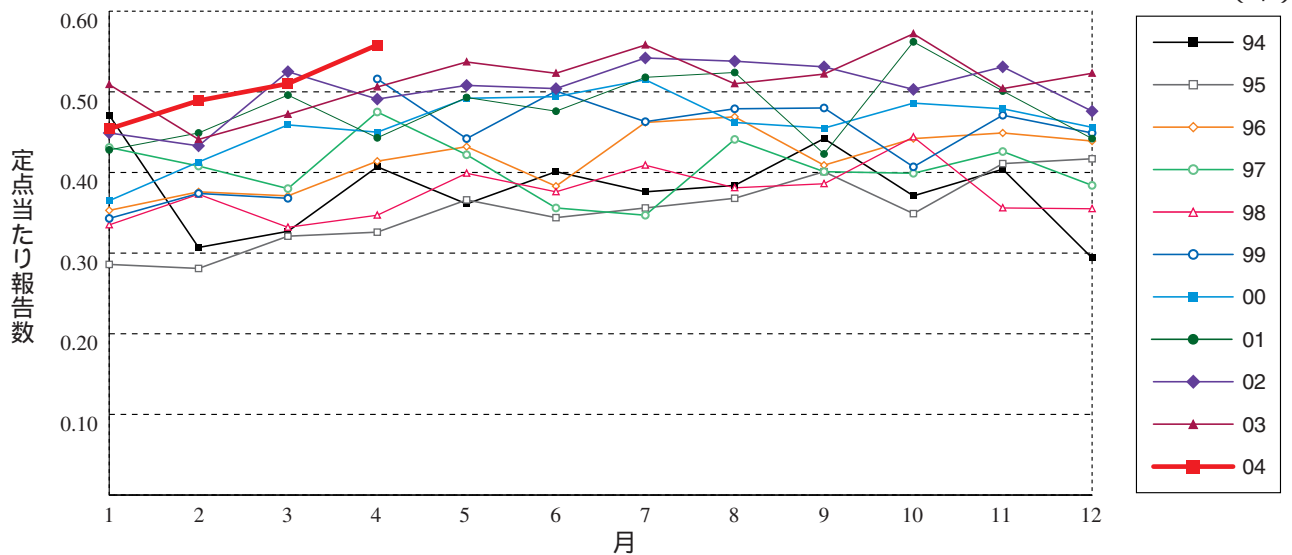
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



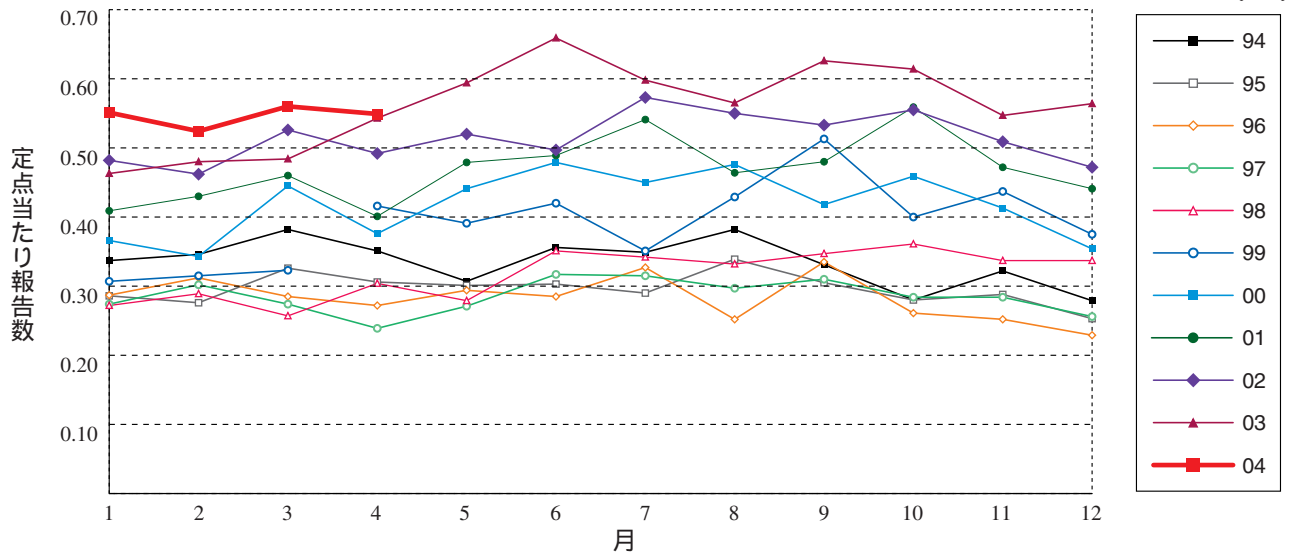
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



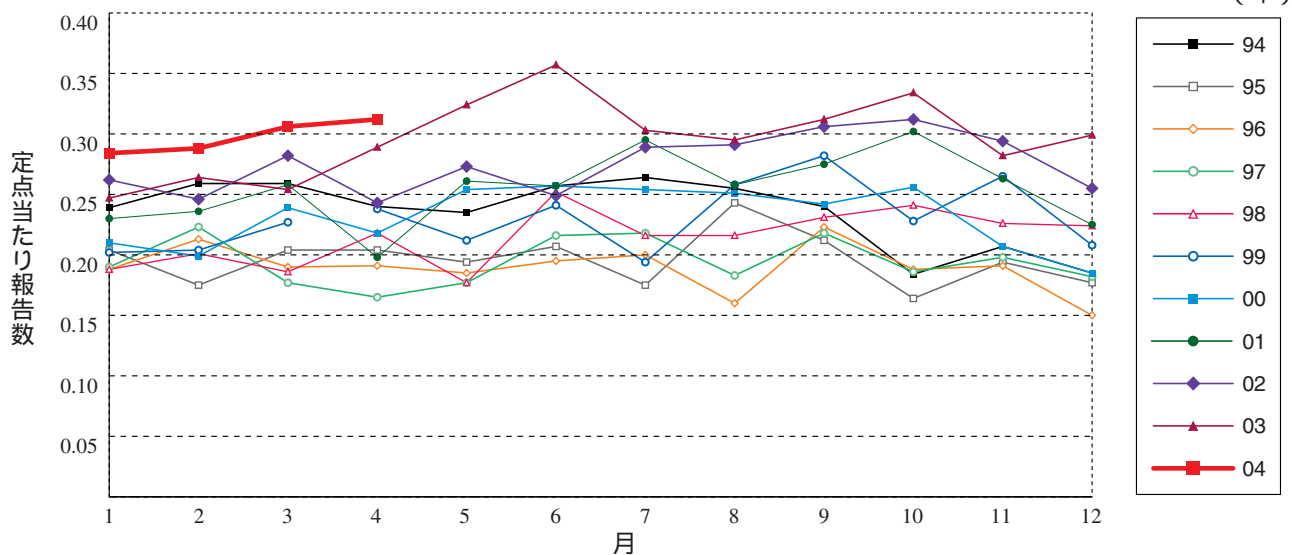
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



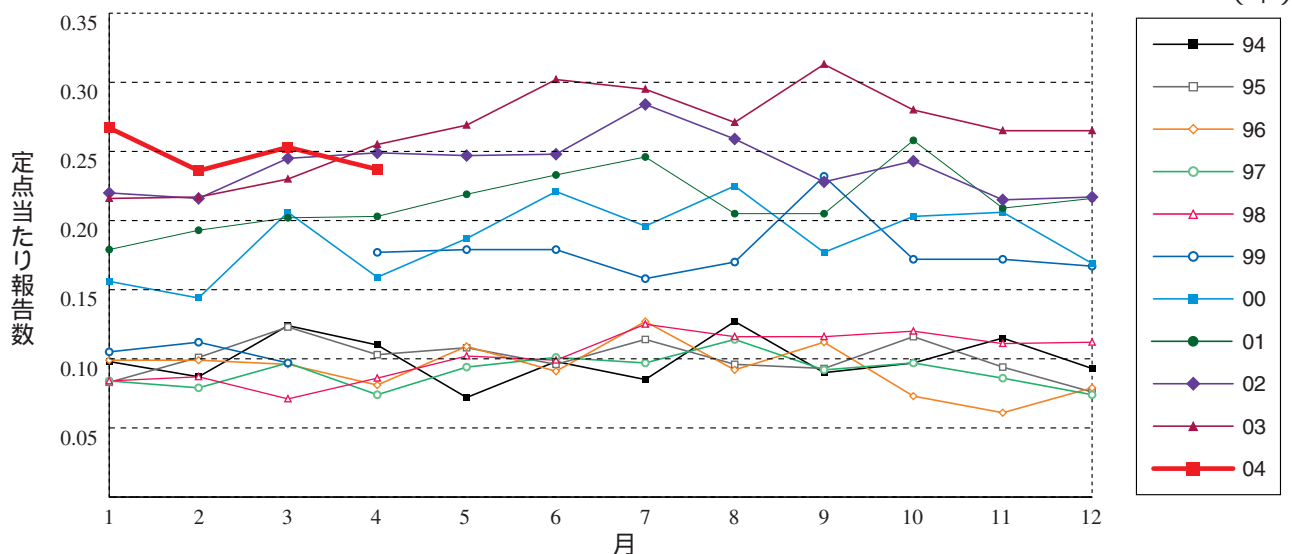
尖圭コンジローマ (総数)



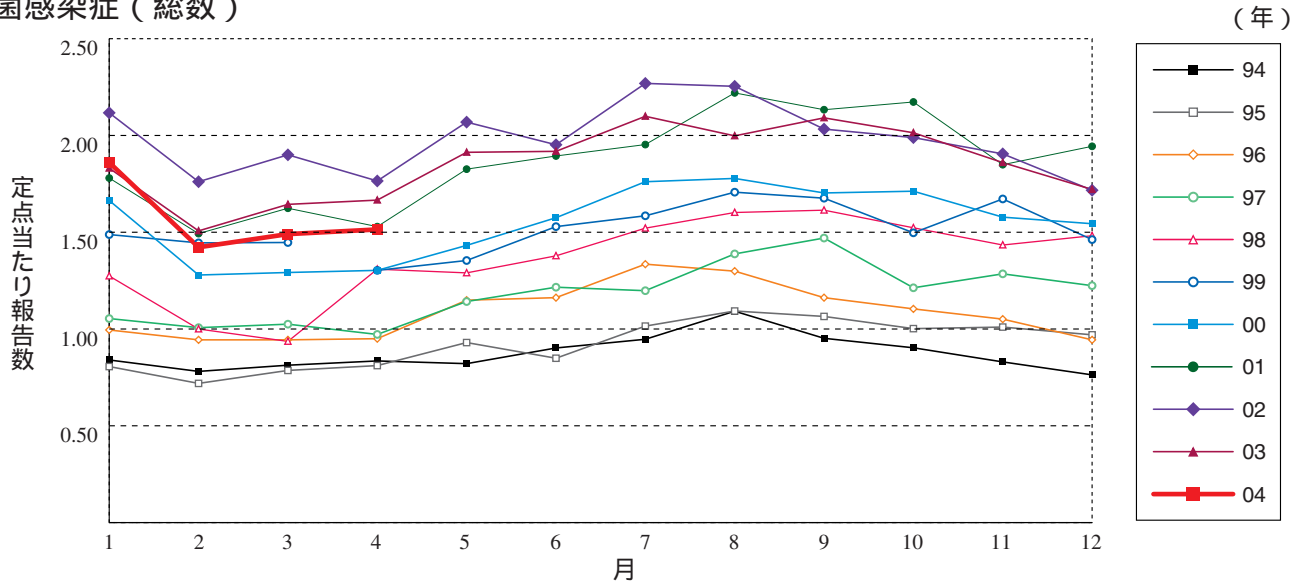
尖圭コンジローマ (男性)



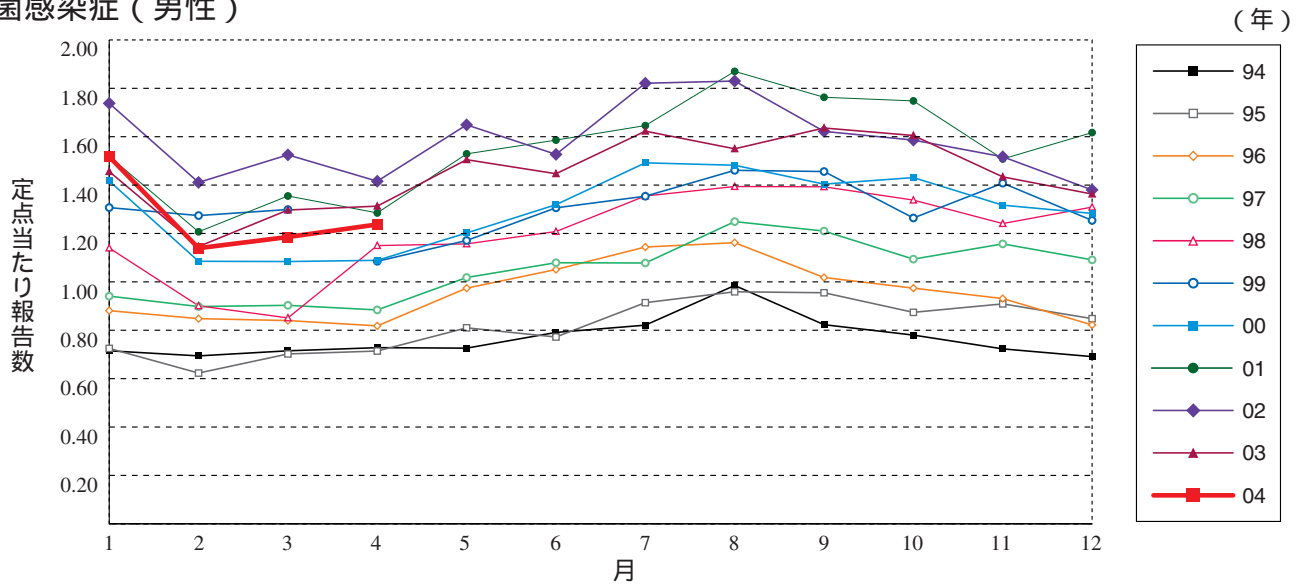
尖圭コンジローマ (女性)



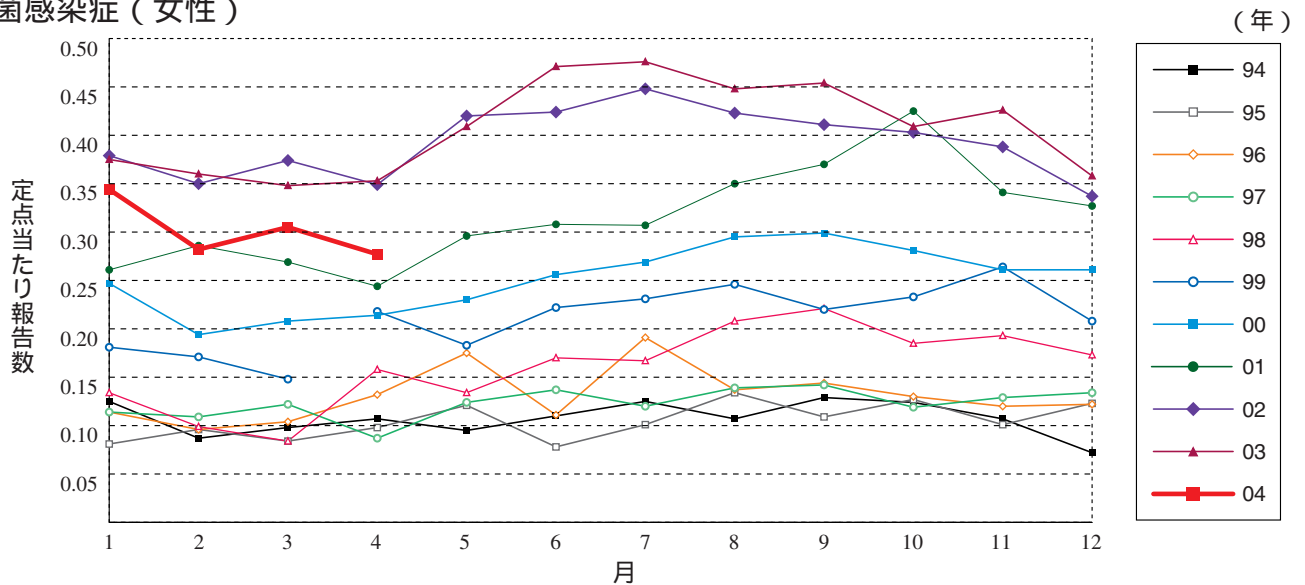
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

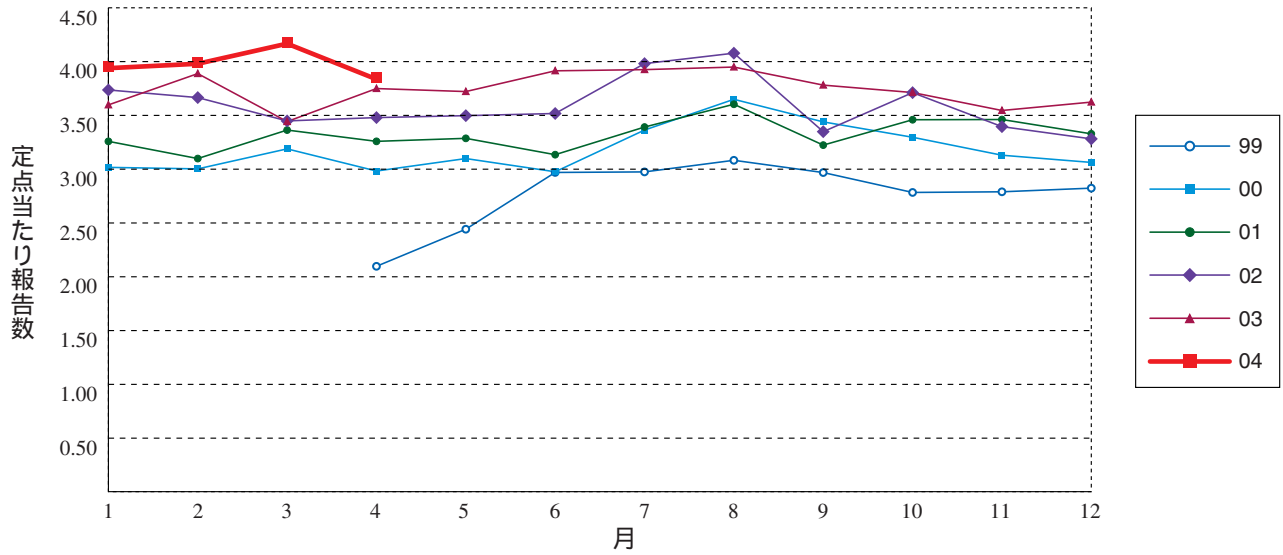


淋菌感染症（女性）



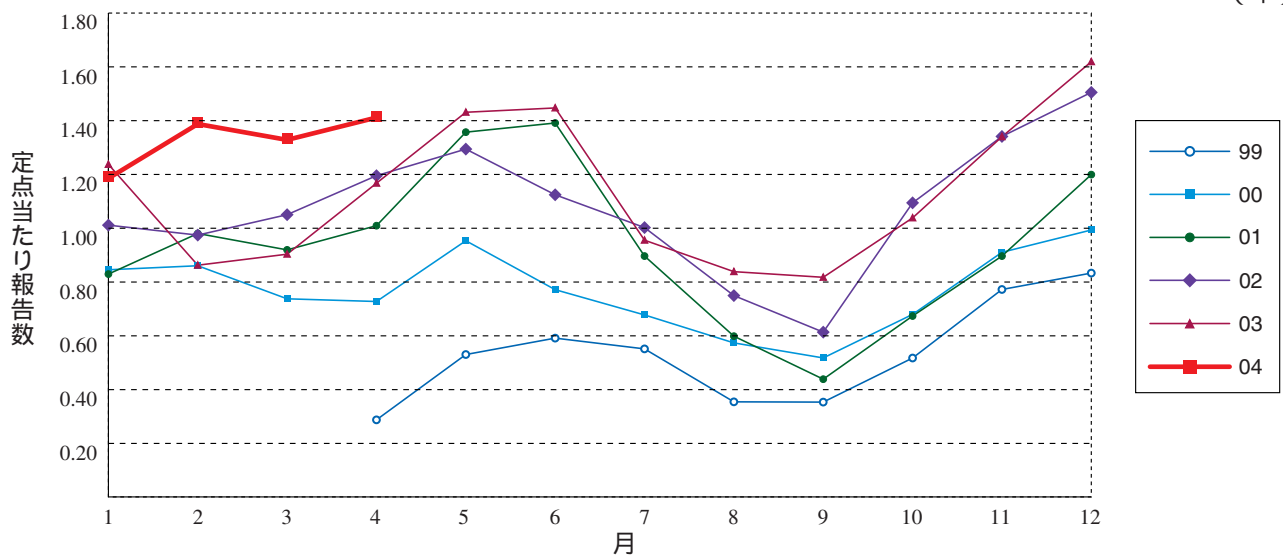
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



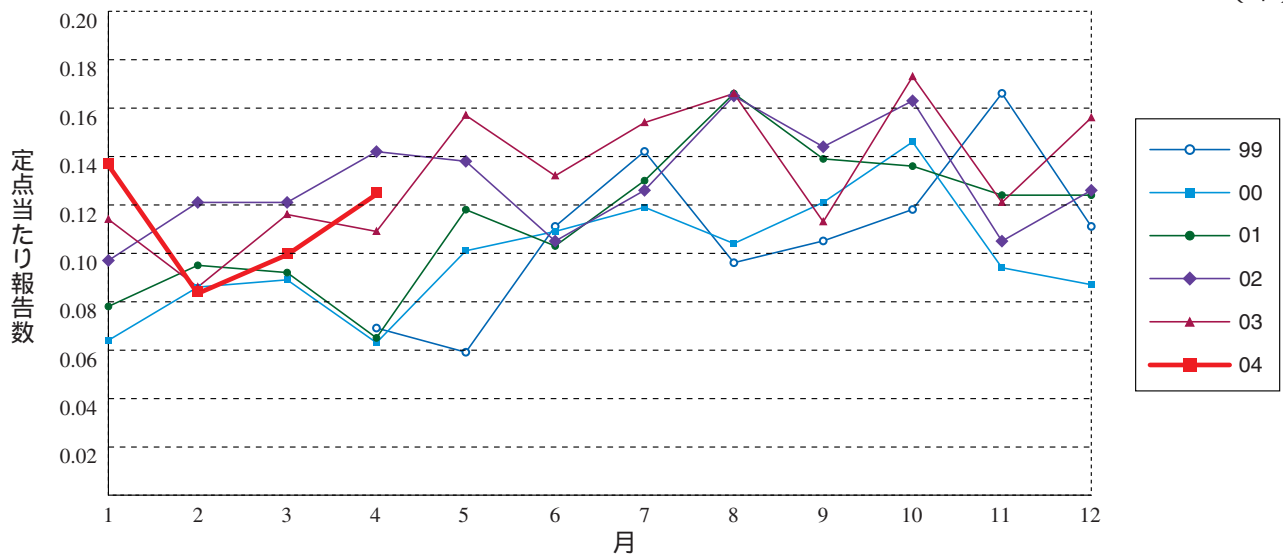
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





4月のデータ

注 5月14日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3019	3.27	824	0.89	507	0.55	1399	1.51	1817	3.85	669	1.42	59	0.13
北海道	175	4.17	47	1.12	27	0.64	60	1.43	31	1.29	3	0.13	-	-
青森県	34	2.62	6	0.46	4	0.31	17	1.31	9	1.5	-	-	-	-
岩手県	38	2.92	7	0.54	4	0.31	26	2	89	4.45	19	0.95	10	0.5
宮城県	76	4.22	14	0.78	20	1.11	35	1.94	46	3.83	34	2.83	4	0.33
秋田県	32	2.29	2	0.14	20	1.43	5	0.36	32	4.57	10	1.43	1	0.14
山形県	36	3.6	3	0.3	4	0.4	9	0.9	38	3.8	16	1.6	1	0.1
福島県	47	2.94	19	1.19	21	1.31	40	2.5	15	2.14	5	0.71	-	-
茨城県	102	4.86	14	0.67	7	0.33	23	1.1	21	2.1	-	-	-	-
栃木県	74	4.63	18	1.13	24	1.5	52	3.25	64	9.14	5	0.71	-	-
群馬県	151	6.04	23	0.92	8	0.32	26	1.04	38	3.8	8	0.8	3	0.3
埼玉県	166	3.25	29	0.57	24	0.47	48	0.94	22	2.44	2	0.22	1	0.11
千葉県	89	2.34	24	0.63	14	0.37	47	1.24	37	4.11	104	11.56	-	-
東京都	194	4.73	101	2.46	44	1.07	94	2.29	117	4.68	34	1.36	6	0.24
神奈川県	146	2.43	21	0.35	12	0.2	58	0.97	30	2.73	33	3	-	-
新潟県	30	1.5	11	0.55	4	0.2	23	1.15	65	5	15	1.15	1	0.08
富山県	15	2.14	3	0.43	4	0.57	21	3	46	9.2	35	7	-	-
石川県	14	1.4	5	0.5	3	0.3	7	0.7	21	4.2	5	1	1	0.2
福井県	9	1.8	3	0.6	3	0.6	3	0.6	23	2.88	9	1.13	2	0.25
山梨県	9	1.5	-	-	1	0.17	3	0.5	15	1.5	15	1.5	1	0.1
長野県	48	3	11	0.69	9	0.56	18	1.13	30	2.73	6	0.55	1	0.09
岐阜県	22	1.47	8	0.53	8	0.53	17	1.13	4	0.8	-	-	-	-
静岡県	60	2	10	0.33	4	0.13	16	0.53	40	4	2	0.2	-	-
愛知県	174	3.41	43	0.84	41	0.8	100	1.96	75	5.77	1	0.08	-	-
三重県	13	0.87	8	0.53	2	0.13	12	0.8	46	5.11	-	-	-	-
滋賀県	14	1.56	2	0.22	3	0.33	6	0.67	33	4.71	-	-	-	-
京都府	54	2.25	17	0.71	5	0.21	12	0.5	15	1.88	-	-	-	-
大阪府	313	5.22	135	2.25	69	1.15	196	3.27	46	3.29	10	0.71	2	0.14
兵庫県	111	2.36	21	0.45	16	0.34	39	0.83	29	2.07	8	0.57	1	0.07
奈良県	14	1.56	2	0.22	3	0.33	14	1.56	38	6.33	1	0.17	2	0.33
和歌山県	13	1.63	8	1	4	0.5	8	1	57	5.18	3	0.27	3	0.27
鳥取県	16	3.2	1	0.2	-	-	2	0.4	15	3	1	0.2	-	-
島根県	8	1.33	-	-	-	-	3	0.5	60	7.5	31	3.88	-	-
岡山県	65	3.82	22	1.29	8	0.47	36	2.12	12	2.4	1	0.2	-	-
広島県	53	1.96	12	0.44	15	0.56	27	1	117	5.85	78	3.9	7	0.35
山口県	31	2.58	3	0.25	2	0.17	14	1.17	68	7.56	60	6.67	4	0.44
徳島県	23	3.83	-	-	2	0.33	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	21	3	3	0.43	3	0.43	12	1.71	24	6	8	2	1	0.25
愛媛県	16	1.45	8	0.73	-	-	9	0.82	28	4.67	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	1	0.17	3	0.5	54	6.75	43	5.38	-	-
福岡県	235	6.35	70	1.89	34	0.92	114	3.08	48	3.2	15	1	-	-
佐賀県	24	3.43	5	0.71	-	-	11	1.57	21	3.5	10	1.67	2	0.33
長崎県	20	2	25	2.5	3	0.3	13	1.3	6	0.5	1	0.08	2	0.17
熊本県	87	6.21	24	1.71	11	0.79	34	2.43	62	4.13	9	0.6	1	0.07
大分県	11	1.1	9	0.9	2	0.2	8	0.8	56	5.6	22	2.2	1	0.1
宮崎県	35	3.18	6	0.55	5	0.45	16	1.45	22	3.14	4	0.57	1	0.14
鹿児島県	70	4.38	16	1	6	0.38	55	3.44	12	1	-	-	-	-
沖縄県	26	2.17	5	0.42	3	0.25	7	0.58	39	5.57	3	0.43	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年4月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1292	1.4	308	0.33	288	0.31	1143	1.24	1179	2.5	394	0.83	36	0.08
北海道	50	1.19	7	0.17	12	0.29	41	0.98	18	0.75	2	0.08	-	-
青森県	16	1.23	1	0.08	1	0.08	14	1.08	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	16	1.23	3	0.23	4	0.31	22	1.69	56	2.8	11	0.55	7	0.35
宮城県	35	1.94	2	0.11	13	0.72	31	1.72	30	2.5	27	2.25	1	0.08
秋田県	20	1.43	1	0.07	6	0.43	5	0.36	26	3.71	7	1	1	0.14
山形県	17	1.7	-	-	2	0.2	8	0.8	24	2.4	8	0.8	-	-
福島県	14	0.88	1	0.06	2	0.13	35	2.19	12	1.71	3	0.43	-	-
茨城県	53	2.52	3	0.14	7	0.33	23	1.1	15	1.5	-	-	-	-
栃木県	49	3.06	16	1	20	1.25	48	3	39	5.57	4	0.57	-	-
群馬県	82	3.28	8	0.32	4	0.16	20	0.8	23	2.3	4	0.4	3	0.3
埼玉県	55	1.08	12	0.24	10	0.2	37	0.73	15	1.67	2	0.22	1	0.11
千葉県	36	0.95	11	0.29	10	0.26	38	1	21	2.33	62	6.89	-	-
東京都	98	2.39	42	1.02	33	0.8	78	1.9	84	3.36	23	0.92	5	0.2
神奈川県	71	1.18	6	0.1	5	0.08	56	0.93	17	1.55	24	2.18	-	-
新潟県	12	0.6	7	0.35	4	0.2	22	1.1	46	3.54	9	0.69	1	0.08
富山県	12	1.71	2	0.29	1	0.14	16	2.29	26	5.2	20	4	-	-
石川県	6	0.6	2	0.2	2	0.2	6	0.6	14	2.8	2	0.4	-	-
福井県	5	1	3	0.6	3	0.6	3	0.6	16	2	3	0.38	1	0.13
山梨県	3	0.5	-	-	1	0.17	2	0.33	9	0.9	8	0.8	1	0.1
長野県	17	1.06	6	0.38	6	0.38	14	0.88	20	1.82	3	0.27	1	0.09
岐阜県	11	0.73	5	0.33	8	0.53	14	0.93	1	0.2	-	-	-	-
静岡県	18	0.6	1	0.03	3	0.1	12	0.4	23	2.3	1	0.1	-	-
愛知県	100	1.96	26	0.51	29	0.57	90	1.76	47	3.62	1	0.08	-	-
三重県	6	0.4	5	0.33	2	0.13	11	0.73	31	3.44	-	-	-	-
滋賀県	2	0.22	-	-	1	0.11	6	0.67	20	2.86	-	-	-	-
京都府	8	0.33	2	0.08	-	-	6	0.25	6	0.75	-	-	-	-
大阪府	113	1.88	57	0.95	48	0.8	144	2.4	35	2.5	6	0.43	2	0.14
兵庫県	47	1	9	0.19	13	0.28	35	0.74	22	1.57	6	0.43	1	0.07
奈良県	6	0.67	1	0.11	2	0.22	14	1.56	25	4.17	-	-	-	-
和歌山県	8	1	2	0.25	3	0.38	8	1	34	3.09	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	1	0.2	-	-	2	0.4	9	1.8	-	-	-	-
島根県	4	0.67	-	-	-	-	3	0.5	39	4.88	18	2.25	-	-
岡山県	28	1.65	8	0.47	2	0.12	25	1.47	9	1.8	1	0.2	-	-
広島県	11	0.41	4	0.15	2	0.07	19	0.7	73	3.65	43	2.15	5	0.25
山口県	11	0.92	1	0.08	2	0.17	13	1.08	41	4.56	32	3.56	1	0.11
徳島県	21	3.5	-	-	2	0.33	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	8	1.14	3	0.43	3	0.43	12	1.71	11	2.75	4	1	-	-
愛媛県	8	0.73	4	0.36	-	-	8	0.73	18	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	3	0.5	31	3.88	19	2.38	-	-
福岡県	97	2.62	27	0.73	13	0.35	97	2.62	35	2.33	10	0.67	-	-
佐賀県	22	3.14	3	0.43	-	-	11	1.57	14	2.33	7	1.17	2	0.33
長崎県	1	0.1	4	0.4	-	-	6	0.6	5	0.42	1	0.08	1	0.08
熊本県	28	2	2	0.14	2	0.14	25	1.79	41	2.73	4	0.27	-	-
大分県	7	0.7	3	0.3	2	0.2	8	0.8	43	4.3	16	1.6	-	-
宮崎県	20	1.82	-	-	2	0.18	16	1.45	18	2.57	-	-	1	0.14
鹿児島県	38	2.38	6	0.38	3	0.19	32	2	6	0.5	-	-	-	-
沖縄県	2	0.17	1	0.08	-	-	4	0.33	23	3.29	2	0.29	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年4月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1727	1.87	516	0.56	219	0.24	256	0.28	638	1.35	275	0.58	23	0.05
北海道	125	2.98	40	0.95	15	0.36	19	0.45	13	0.54	1	0.04	-	-
青森県	18	1.38	5	0.38	3	0.23	3	0.23	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	4	0.31	-	-	4	0.31	33	1.65	8	0.4	3	0.15
宮城県	41	2.28	12	0.67	7	0.39	4	0.22	16	1.33	7	0.58	3	0.25
秋田県	12	0.86	1	0.07	14	1	-	-	6	0.86	3	0.43	-	-
山形県	19	1.9	3	0.3	2	0.2	1	0.1	14	1.4	8	0.8	1	0.1
福島県	33	2.06	18	1.13	19	1.19	5	0.31	3	0.43	2	0.29	-	-
茨城県	49	2.33	11	0.52	-	-	-	-	6	0.6	-	-	-	-
栃木県	25	1.56	2	0.13	4	0.25	4	0.25	25	3.57	1	0.14	-	-
群馬県	69	2.76	15	0.6	4	0.16	6	0.24	15	1.5	4	0.4	-	-
埼玉県	111	2.18	17	0.33	14	0.27	11	0.22	7	0.78	-	-	-	-
千葉県	53	1.39	13	0.34	4	0.11	9	0.24	16	1.78	42	4.67	-	-
東京都	96	2.34	59	1.44	11	0.27	16	0.39	33	1.32	11	0.44	1	0.04
神奈川県	75	1.25	15	0.25	7	0.12	2	0.03	13	1.18	9	0.82	-	-
新潟県	18	0.9	4	0.2	-	-	1	0.05	19	1.46	6	0.46	-	-
富山県	3	0.43	1	0.14	3	0.43	5	0.71	20	4	15	3	-	-
石川県	8	0.8	3	0.3	1	0.1	1	0.1	7	1.4	3	0.6	1	0.2
福井県	4	0.8	-	-	-	-	-	-	7	0.88	6	0.75	1	0.13
山梨県	6	1	-	-	-	-	1	0.17	6	0.6	7	0.7	-	-
長野県	31	1.94	5	0.31	3	0.19	4	0.25	10	0.91	3	0.27	-	-
岐阜県	11	0.73	3	0.2	-	-	3	0.2	3	0.6	-	-	-	-
静岡県	42	1.4	9	0.3	1	0.03	4	0.13	17	1.7	1	0.1	-	-
愛知県	74	1.45	17	0.33	12	0.24	10	0.2	28	2.15	-	-	-	-
三重県	7	0.47	3	0.2	-	-	1	0.07	15	1.67	-	-	-	-
滋賀県	12	1.33	2	0.22	2	0.22	-	-	13	1.86	-	-	-	-
京都府	46	1.92	15	0.63	5	0.21	6	0.25	9	1.13	-	-	-	-
大阪府	200	3.33	78	1.3	21	0.35	52	0.87	11	0.79	4	0.29	-	-
兵庫県	64	1.36	12	0.26	3	0.06	4	0.09	7	0.5	2	0.14	-	-
奈良県	8	0.89	1	0.11	1	0.11	-	-	13	2.17	1	0.17	2	0.33
和歌山県	5	0.63	6	0.75	1	0.13	-	-	23	2.09	2	0.18	2	0.18
鳥取県	16	3.2	-	-	-	-	-	-	6	1.2	1	0.2	-	-
島根県	4	0.67	-	-	-	-	-	-	21	2.63	13	1.63	-	-
岡山県	37	2.18	14	0.82	6	0.35	11	0.65	3	0.6	-	-	-	-
広島県	42	1.56	8	0.3	13	0.48	8	0.3	44	2.2	35	1.75	2	0.1
山口県	20	1.67	2	0.17	-	-	1	0.08	27	3	28	3.11	3	0.33
徳島県	2	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	13	1.86	-	-	-	-	-	-	13	3.25	4	1	1	0.25
愛媛県	8	0.73	4	0.36	-	-	1	0.09	10	1.67	-	-	-	-
高知県	5	0.83	-	-	1	0.17	-	-	23	2.88	24	3	-	-
福岡県	138	3.73	43	1.16	21	0.57	17	0.46	13	0.87	5	0.33	-	-
佐賀県	2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	7	1.17	3	0.5	-	-
長崎県	19	1.9	21	2.1	3	0.3	7	0.7	1	0.08	-	-	1	0.08
熊本県	59	4.21	22	1.57	9	0.64	9	0.64	21	1.4	5	0.33	1	0.07
大分県	4	0.4	6	0.6	-	-	-	-	13	1.3	6	0.6	1	0.1
宮崎県	15	1.36	6	0.55	3	0.27	-	-	4	0.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	32	2	10	0.63	3	0.19	23	1.44	6	0.5	-	-	-	-
沖縄県	24	2	4	0.33	3	0.25	3	0.25	16	2.29	1	0.14	-	-

注 5月21日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年4月

	結核
	報告数
総数	2411
北海道	77
青森県	25
岩手県	14
宮城県	23
秋田県	17
山形県	11
福島県	29
茨城県	37
栃木県	41
群馬県	20
埼玉県	107
千葉県	81
東京都	287
神奈川県	139
新潟県	43
富山県	21
石川県	24
福井県	13
山梨県	10
長野県	17
岐阜県	58
静岡県	67
愛知県	166
三重県	37
滋賀県	26
京都府	62
大阪府	287
兵庫県	150
奈良県	30
和歌山県	19
鳥取県	7
島根県	6
岡山県	33
広島県	30
山口県	27
徳島県	14
香川県	24
愛媛県	25
高知県	10
福岡県	124
佐賀県	17
長崎県	20
熊本県	23
大分県	20
宮崎県	19
鹿児島県	38
沖縄県	36



20週のデータ

注)表中の報告数は5月20日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年20週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	22	166	2	26	6	27	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	1	1	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	6	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	2	1	4	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	48	-	8	1	5	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	3	1	1	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	1	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	45	330	3	204	-	12	-	-	3	16	-	-	1	102
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	12	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	2	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	16	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	4	12	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	37	2	55	-	-	-	-	1	-	-	-	-	18
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	4	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	1	4	-	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	2	15	-	16	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	3	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	24	-	20	-	-	-	-	4	-	-	-	-	11
兵庫県	-	-	-	-	5	17	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	2	25	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	5	11	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
徳島県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	2	9	-	8	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	3	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	2	-	-	1	2	-	60	3	26	6	356	-	1	1	26	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	7	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	1	3	-	10	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	1	2	-	3	-	4	1	143	-	-	-	8	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	26	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	19	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	5	1	4	2	41	-	-	1	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	12	-	3	-	-	2	65	-	6	1	4	-	1	7	169	3	25
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
東京都	-	3	-	1	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	24	-	1
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	11	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25	1	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20	-	2	1	34
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	3
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	9	-	-	2	66	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	28	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年20週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	464	0.1	1177	0.39	6158	2.02	17506	5.75	6930	2.28	394	0.13	1572	0.52	2236	0.73	55	0.02
北海道	100	0.44	35	0.24	404	2.83	530	3.71	279	1.95	22	0.15	36	0.25	91	0.64	-	-
青森県	3	0.05	10	0.24	63	1.5	178	4.24	81	1.93	1	0.02	10	0.24	20	0.48	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	63	1.66	121	3.18	56	1.47	-	-	17	0.45	23	0.61	2	0.05
宮城県	3	0.03	12	0.2	185	3.14	475	8.05	179	3.03	8	0.14	51	0.86	51	0.86	-	-
秋田県	3	0.05	9	0.26	93	2.66	284	8.11	30	0.86	-	-	1	0.03	17	0.49	2	0.06
山形県	-	-	11	0.37	173	5.77	290	9.67	51	1.7	1	0.03	15	0.5	26	0.87	1	0.03
福島県	3	0.04	58	1.21	116	2.42	404	8.42	118	2.46	-	-	8	0.17	52	1.08	-	-
茨城県	4	0.04	28	0.38	168	2.27	285	3.85	159	2.15	1	0.01	8	0.11	24	0.32	2	0.03
栃木県	-	-	5	0.11	119	2.59	232	5.04	74	1.61	-	-	19	0.41	23	0.5	1	0.02
群馬県	3	0.03	7	0.11	128	2.06	320	5.16	111	1.79	1	0.02	44	0.71	44	0.71	1	0.02
埼玉県	1	0	46	0.29	495	3.15	852	5.43	365	2.32	20	0.13	175	1.11	132	0.84	4	0.03
千葉県	3	0.01	65	0.49	372	2.78	675	5.04	422	3.15	15	0.11	154	1.15	107	0.8	1	0.01
東京都	1	0.01	17	0.12	179	1.26	647	4.56	184	1.3	8	0.06	94	0.66	89	0.63	3	0.02
神奈川県	4	0.01	103	0.5	427	2.07	791	3.84	477	2.32	15	0.07	205	1	167	0.81	-	-
新潟県	-	-	32	0.53	248	4.13	631	10.52	195	3.25	3	0.05	76	1.27	43	0.72	-	-
富山県	-	-	35	1.21	135	4.66	333	11.48	74	2.55	-	-	22	0.76	24	0.83	-	-
石川県	2	0.04	24	0.83	39	1.34	257	8.86	86	2.97	12	0.41	23	0.79	19	0.66	-	-
福井県	-	-	17	0.81	58	2.76	313	14.9	101	4.81	2	0.1	13	0.62	18	0.86	-	-
山梨県	1	0.02	1	0.04	74	2.96	99	3.96	22	0.88	3	0.12	6	0.24	8	0.32	-	-
長野県	17	0.2	10	0.18	93	1.69	440	8	123	2.24	3	0.05	29	0.53	35	0.64	1	0.02
岐阜県	11	0.13	46	0.87	56	1.06	116	2.19	151	2.85	6	0.11	11	0.21	37	0.7	3	0.06
静岡県	1	0.01	25	0.29	141	1.64	490	5.7	261	3.03	11	0.13	45	0.52	73	0.85	-	-
愛知県	13	0.07	42	0.23	290	1.59	564	3.1	363	1.99	31	0.17	114	0.63	115	0.63	2	0.01
三重県	-	-	20	0.44	117	2.6	336	7.47	126	2.8	2	0.04	7	0.16	48	1.07	-	-
滋賀県	-	-	15	0.45	23	0.7	174	5.27	61	1.85	1	0.03	1	0.03	15	0.45	-	-
京都府	3	0.02	3	0.04	124	1.63	501	6.59	109	1.43	8	0.11	18	0.24	36	0.47	2	0.03
大阪府	5	0.02	49	0.25	262	1.34	1059	5.43	413	2.12	28	0.14	84	0.43	116	0.59	3	0.02
兵庫県	5	0.03	57	0.45	189	1.48	925	7.23	303	2.37	69	0.54	59	0.46	109	0.85	6	0.05
奈良県	-	-	19	0.54	35	1	227	6.49	53	1.51	8	0.23	9	0.26	20	0.57	3	0.09
和歌山県	-	-	22	0.71	25	0.81	160	5.16	75	2.42	3	0.1	23	0.74	35	1.13	-	-
鳥取県	3	0.1	14	0.74	64	3.37	206	10.84	45	2.37	-	-	2	0.11	21	1.11	-	-
島根県	70	1.84	31	1.35	16	0.7	174	7.57	42	1.83	1	0.04	10	0.43	23	1	-	-
岡山県	3	0.04	34	0.63	59	1.09	294	5.44	107	1.98	2	0.04	10	0.19	33	0.61	-	-
広島県	119	0.99	40	0.53	92	1.23	555	7.4	111	1.48	7	0.09	39	0.52	38	0.51	-	-
山口県	25	0.36	13	0.27	98	2	393	8.02	106	2.16	3	0.06	3	0.06	47	0.96	-	-
徳島県	-	-	18	0.78	26	1.13	131	5.7	34	1.48	1	0.04	16	0.7	28	1.22	-	-
香川県	-	-	3	0.09	43	1.34	163	5.09	69	2.16	2	0.06	5	0.16	31	0.97	1	0.03
愛媛県	-	-	23	0.59	111	2.85	355	9.1	95	2.44	1	0.03	4	0.1	37	0.95	-	-
高知県	2	0.04	1	0.03	49	1.58	98	3.16	83	2.68	1	0.03	-	-	23	0.74	-	-
福岡県	34	0.17	21	0.18	270	2.25	820	6.83	338	2.82	28	0.23	18	0.15	121	1.01	11	0.09
佐賀県	1	0.03	31	1.35	33	1.43	105	4.57	109	4.74	4	0.17	3	0.13	32	1.39	-	-
長崎県	4	0.06	12	0.27	49	1.11	191	4.34	74	1.68	2	0.05	7	0.16	12	0.27	-	-
熊本県	3	0.04	11	0.22	90	1.84	300	6.12	109	2.22	4	0.08	2	0.04	31	0.63	-	-
大分県	-	-	13	0.36	96	2.67	310	8.61	89	2.47	2	0.06	38	1.06	34	0.94	-	-
宮崎県	1	0.02	69	1.92	81	2.25	351	9.75	152	4.22	4	0.11	23	0.64	50	1.39	-	-
鹿児島県	3	0.03	15	0.26	55	0.96	323	5.67	199	3.49	18	0.32	5	0.09	46	0.81	4	0.07
沖縄県	10	0.17	4	0.12	32	0.94	28	0.82	66	1.94	32	0.94	10	0.29	12	0.35	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年20週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	243	0.08	1039	0.34	75	0.02	2288	0.75	14	0.02	612	0.96	6	0.01	12	0.03	83	0.18
北海道	1	0.01	10	0.07	2	0.01	75	0.52	1	0.03	19	0.66	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	11	0.26	-	-	27	0.64	-	-	7	0.64	-	-	-	-	6	1
岩手県	-	-	8	0.21	-	-	20	0.53	-	-	9	0.75	-	-	-	-	2	0.1
宮城県	3	0.05	4	0.07	1	0.02	41	0.69	-	-	5	0.45	-	-	-	-	6	0.5
秋田県	9	0.26	3	0.09	-	-	4	0.11	-	-	6	0.86	1	0.14	2	0.29	1	0.14
山形県	-	-	-	-	-	-	26	0.87	-	-	6	0.75	-	-	-	-	12	1.2
福島県	9	0.19	1	0.02	2	0.04	28	0.58	-	-	22	1.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	4	0.05	7	0.09	26	0.35	-	-	38	2.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	27	0.59	5	0.11	20	0.43	10	0.22	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	36	0.58	5	0.08	-	-	57	0.92	-	-	44	3.14	-	-	-	-	2	0.2
埼玉県	16	0.1	9	0.06	4	0.03	157	1	2	0.05	23	0.62	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	8	0.06	7	0.05	2	0.01	96	0.72	4	0.12	35	1.06	1	0.11	1	0.11	-	-
東京都	6	0.04	18	0.13	3	0.02	64	0.45	1	0.07	14	1	-	-	1	0.04	5	0.2
神奈川県	28	0.14	13	0.06	-	-	134	0.65	-	-	53	1.26	-	-	-	-	-	-
新潟県	4	0.07	6	0.1	1	0.02	69	1.15	-	-	3	0.33	-	-	-	-	7	0.58
富山県	1	0.03	17	0.59	-	-	36	1.24	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.4
石川県	1	0.03	75	2.59	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	1	0.2	-	-
福井県	-	-	22	1.05	-	-	11	0.52	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	6	0.6
長野県	-	-	6	0.11	-	-	29	0.53	-	-	5	0.45	-	-	-	-	6	0.55
岐阜県	-	-	5	0.09	-	-	44	0.83	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	15	0.17	1	0.01	90	1.05	-	-	10	0.5	-	-	1	0.1	2	0.2
愛知県	6	0.03	77	0.42	2	0.01	203	1.12	1	0.03	20	0.57	1	0.08	1	0.08	3	0.23
三重県	2	0.04	23	0.51	1	0.02	19	0.42	-	-	8	0.67	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	2	0.06	13	0.39	-	-	25	0.76	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.43
京都府	7	0.09	17	0.22	4	0.05	33	0.43	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	8	0.04	111	0.57	3	0.02	152	0.78	1	0.02	14	0.29	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	1	0.01	84	0.66	8	0.06	153	1.2	1	0.03	38	1.09	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	9	0.26	-	-	18	0.51	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	18	0.58	-	-	37	1.19	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	10	0.53	1	0.05	11	0.58	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.2
島根県	-	-	12	0.52	-	-	21	0.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	7	0.13	-	-	26	0.48	-	-	9	0.75	-	-	-	-	12	2.4
広島県	-	-	45	0.6	-	-	78	1.04	-	-	16	0.8	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.02	30	0.61	-	-	121	2.47	1	0.11	5	0.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	7	0.3	4	0.17	5	0.22	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	8	0.25	-	-	7	0.22	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	91	2.33	-	-	22	0.56	-	-	16	2.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	7	0.23	-	-	28	0.9	-	-	2	0.67	-	-	-	-	3	0.33
福岡県	27	0.23	49	0.41	5	0.04	159	1.33	2	0.08	10	0.38	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	4	0.17	-	-	37	1.61	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	44	1	-	-	7	0.16	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	72	1.47	-	-	18	0.37	-	-	11	1.22	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	9	0.25	9	0.25	2	0.06	13	0.36	-	-	3	0.6	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	31	0.86	-	-	24	0.67	-	-	17	4.25	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	13	0.23	13	0.23	2	0.04	14	0.25	-	-	9	1.29	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	15	0.44	3	0.09	-	-	7	0.21	-	-	98	9.8	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年20週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	2	0	-	-	15
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	...
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.1	-	-	...
長野県	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第20号 平成16年5月28日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。